Tiguan
クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください

Tiguan に関する資料

本 書

クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。
ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

QR コードについて

本書内で QR コードが表示されている機能は、動画で機能の説明を確認することができます。
QR コード対応の携帯電話から QR コードを読み取ると、各機能の動画による説明が閲覧できます。
動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。

取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。
本書と合わせて必ずお読みください。

Tiguan

クイックユーザーガイド

目　次

運転の前に

運　転

便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

目次

外観 4
内装 8

1. 運転の前に 12

運転準備 12
リモコンキー 12
スマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access” 13
ドア 14
シートの調整 15
センターアームレストの調整 17
ステアリングホイールの調整 18
ミラーの調整 19
シートベルト 22

2. 運 転 24

運転する 24
コンビネーションメーター 24
警告灯および表示灯 28
ディスプレイ表示 / 情報プロファイル表示 32
始動・停止 35
シフト操作 36
パーキングブレーキ 38
Start/Stop システム 39
ライト 40
方向指示器 42
非常点滅表示灯 42
ウインドーワイパー、ウォッシャー 43
燃料の給油 44

3. 便利な機能 46

室内装備 46
フルオートエアコンディショナー 46
シートヒーター 49
パワーウインドー 50
電動パノラマスライディングルーフ 51
チャイルドシート 53
エアバッグ 54
ルームランプ、リーディングランプ 55
12V ソケット 55
メモリーシート 57
荷物の積載 58
ラゲージルーム 58
ラゲージルームフロアパネル 62
運転支援 64
インフォテイメントシステム 64
ドライビングプロファイル 68
ヘッドアップディスプレイ 70
アダプティブクルーズコントロール“ACC” 72
レーンキープアシストシステム“Lane Assist” 76
渋滞時追従支援システム“Traffic Assist” 78
レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus” 79
リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能） 80
ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System” 82
プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”
（歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付） 84
歩行者検知システム 86
ESC（エレクトロニックスタビリゼーションプログラム） 87
プロアクティブ・オキュパント・プロテクション 88
タイヤモニタリングシステム 89
パークディスタンスコントロール 90
リヤビューカメラ“Rear Assist” 92
アラウンドビューカメラ“Area View” 93
駐車支援システム“Park Assist” 96

外観

電動パノラマスライディングルーフ　**51** ページ

フューエルリッド　**44** ページ

フロントウインドー
- フロントウインドーワイパー　**43** ページ
- アシストシステム用カメラ　**76** ページ

パークディスタンスコントロール用センサー　**90** ページ

ドア
- ドア　**14** ページ
- パワーウインドー　**50** ページ
- スマートエントリー & スタートシステム “Keyless Access”　**13** ページ

ヘッドライト　**40** ページ

ドアミラー　**20** ページ

レーダーセンサー
- アダプティブクルーズコントロール “ACC”　**72** ページ
- プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist”　**84** ページ
- 歩行者検知システム　**86** ページ

目次

リヤウインドー
・リヤウインドーワイパー **43** ページ
・リヤウインドーヒーター **46** ページ、**48** ページ

・テールゲートオープナー **58** ページ
・リヤビューカメラ“Rear Assist” **92** ページ

パークディスタンスコントロール用センサー **90** ページ

テールライト **40** ページ

内装

・助手席エアバッグカットオフスイッチ警告灯　**54** ページ
・非常点滅表示灯 ON/OFF ボタン　**42** ページ

インフォテイメントシステム　**64** ページ

助手席エアバッグカットオフスイッチ　**54** ページ

レバー
・ヘッドライト　**40** ページ
・方向指示器　**42** ページ

パドルシフト　**37** ページ

コンビネーションメーター　**24** ページ

12V ソケット　**55** ページ

・フルオートエアコンディショナー　**46** ページ
・シートヒータースイッチ　**49** ページ

マルチファンクションステアリングホイール
・ディスプレイ表示 / 情報プロファイル表示　**32** ページ
・アダプティブクルーズコントロール“ACC”　**72** ページ

ステアリングホイール
調整用レバー　**18** ページ

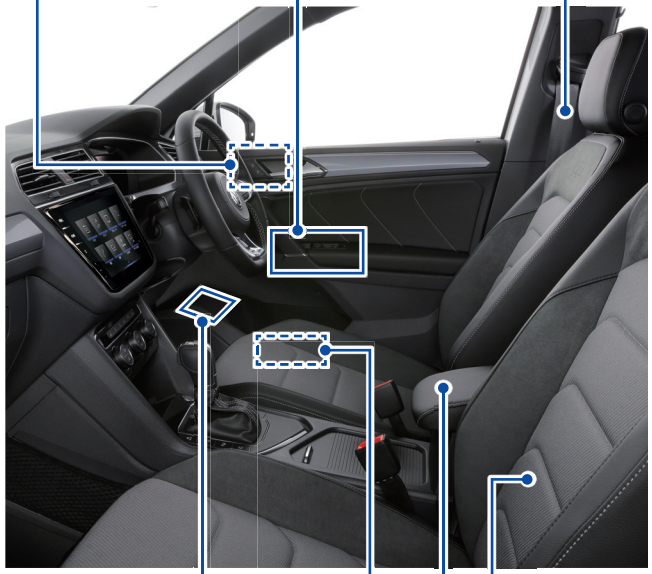
・ライトスイッチ　**40** ページ
・ヘッドアップディスプレイ
コントローラー　**70** ページ

レバー
ウインドーワイパー・ウォッシャー　**43** ページ

センターロッキングスイッチ **14** ページ

・パワーウインドースイッチ **50** ページ
・ドアミラー用回転式ノブ **20** ページ

フロントシートベルト **22** ページ



テールゲート
リリーススイッチ **58** ページ

12V ソケット **55** ページ

フロントシート
・マニュアルシート **15** ページ
・パワーシート **15** ページ
・ヘッドレスト **16** ページ

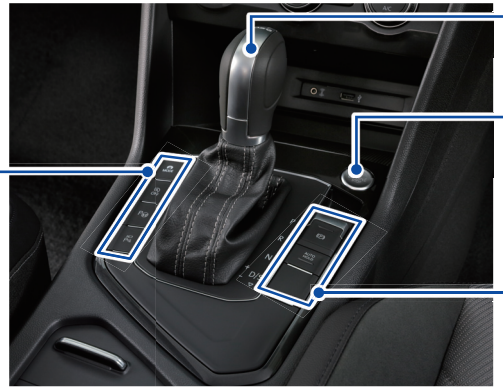
運転席シートメモリー
ボタン **57** ページ

フロントセンターアームレスト **17** ページ

リヤシートベルト **22** ページ

・リヤセンターアームレスト **17** ページ
・ロードスルー **62** ページ

リヤシート
・分割可倒式リヤシート **61** ページ
・ヘッドレスト **16** ページ
・ISOFIX チャイルドシート **53** ページ



セレクターレバー **36** ページ

エンジンスタート /
ストップボタン **35** ページ

・パーキングブレーキボタン **38** ページ
・オートホールドボタン **38** ページ

・ドライビングプロファイル機能ボタン **68** ページ
・Start/Stop システム OFF ボタン **39** ページ
・パークディスタンスコントロールボタン **90** ページ
・アラウンドビューカメラ“Area View”ボタン **93** ページ
・駐車支援システム“Park Assist”ボタン **96** ページ

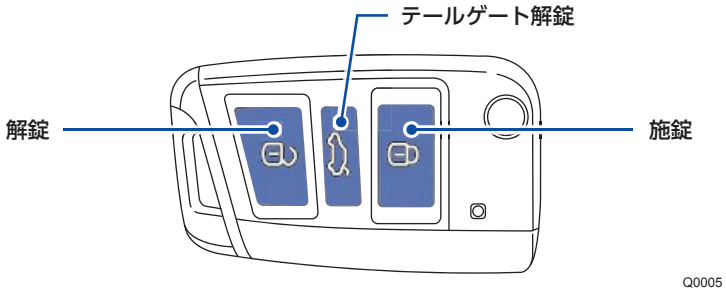
目次

運転の前に

運転準備

リモコンキー

リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。

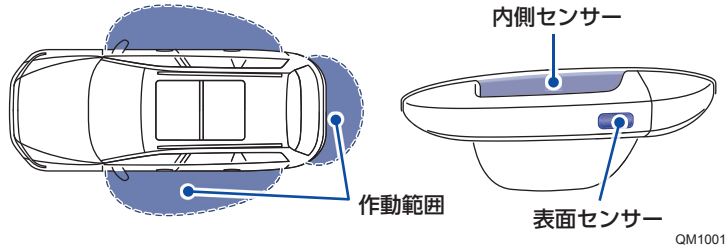


- 施錠ボタン…… すべてのドアおよびテールゲートを施錠します。
- 解錠ボタン…… すべてのドアおよびテールゲートを解錠します。
- テールゲート解錠ボタン‥ テールゲートのみ解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとテールゲートを施錠、解錠することができます。



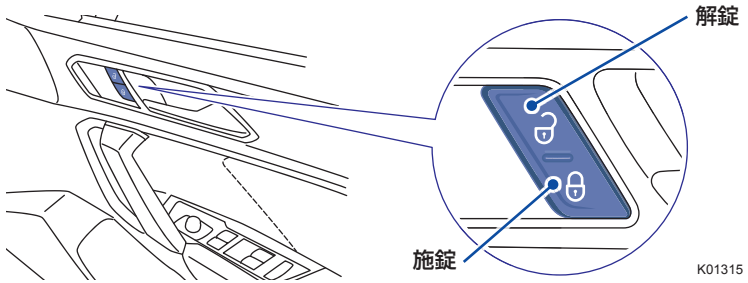
- 表面センサー…… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが施錠します。
- 内側センサー…… 触れると、全てのドアおよびテールゲートが解錠します。

解錠後、数十秒ドアやテールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。
キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示灯が 4 回点滅し、ドアを施錠することができません。

ドア

センターロッキング

車内からは、運転席のドアについているセンターロッキングスイッチで施錠、解錠することができます。



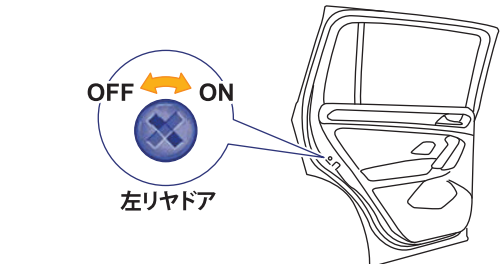
K01315

自動施錠（オートロック）

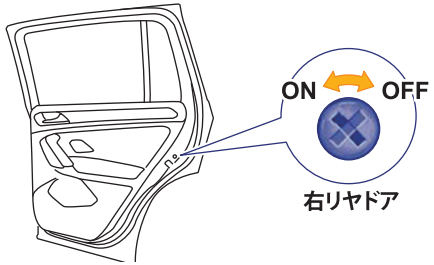
15km/h 以上で走行すると、自動的に施錠されます。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

チャイルドプルーフロック

お子様などが誤ってドアを開けないようにする機能です。ON になっているときは、リヤドアを車内から開けることができません。ON/OFF を切り替えるには、キーを差し込んで回します。



K01372

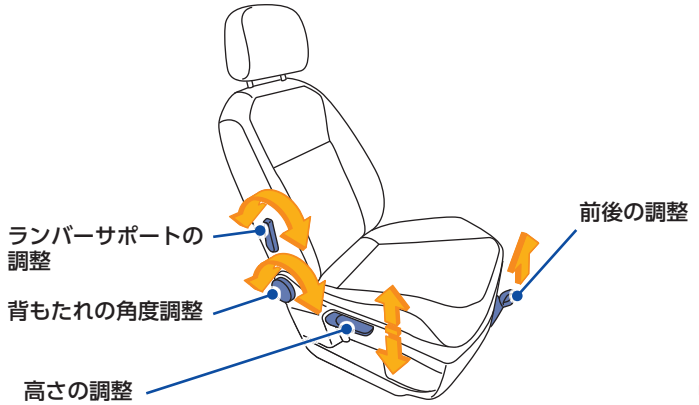


K01373

シートの調整

マニュアルシートの調整

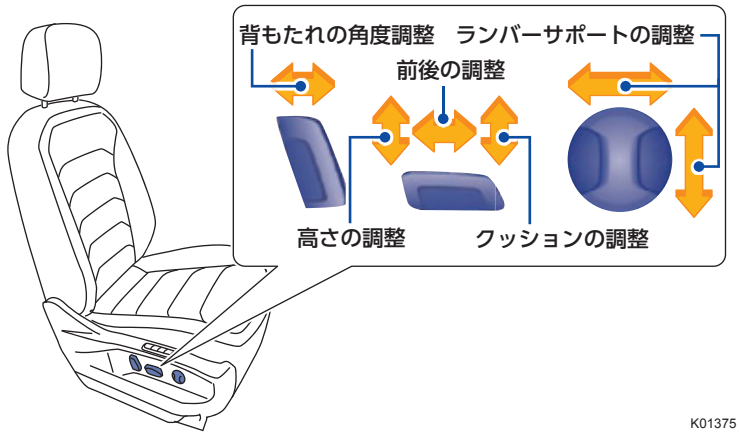
シートの高さ、前後、背もたれの角度を調整することができます。



K01374

パワーシートの調整

シートの高さ、シートの前後、クッションの角度、背もたれの角度、ランバーサポートのカーブ、ランバーサポートの高さを調整することができます。

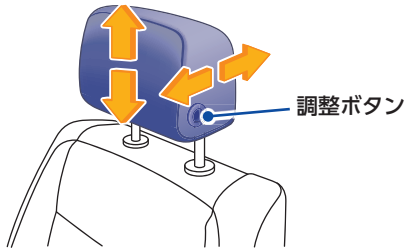


K01375

運転の前に

ヘッドレストの高さ、前後位置調整（フロントシート）

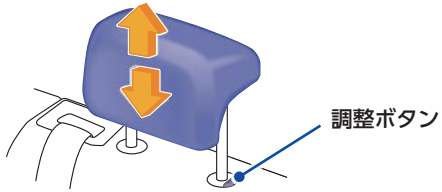
高さ前後位置を調整することができます。
そのまま引き上げる、または前に動かします。
下げる、または後ろに動かす場合は調整ボタンを押しながら動かしてください。



QM1015

ヘッドレストの高さ調整（リヤシート）

高さを調整することができます。
そのまま引き上げます。下げる場合は調整ボタンを押しながら、下げてください。

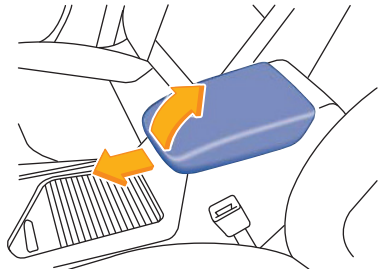


K01316

センターアームレストの調整

フロントセンターアームレスト

角度および前後位置を調整することができます。
上げるときは、先端を持ち上げます。
下げるときは、いったん上まで引き上げてから下げます。
前後位置を調整するときは、前方または後方にロックするまで動かします。



K01376

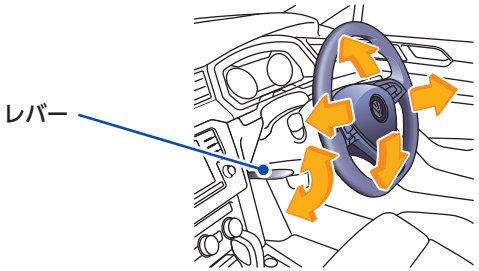
リヤセンターアームレスト

バンドを引いて、前に倒して使います。

K01377

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



QM4009

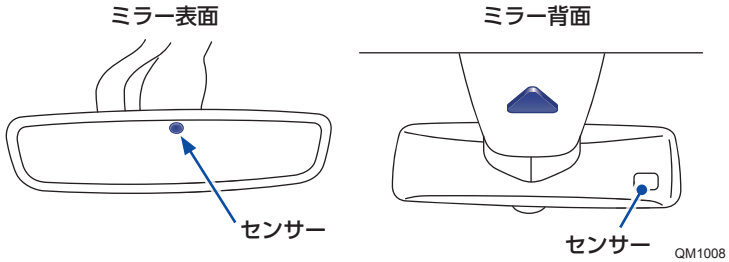
操作手順

1. レバーを下げます。
2. ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
3. 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

ミラーの調整

自動防眩ルームミラーの調整

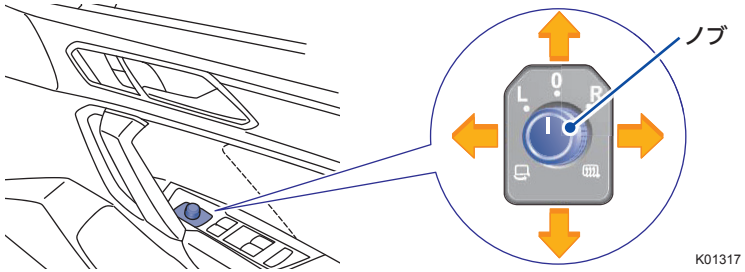
リヤウインドーを通して後方の視界が確認できるように、ルームミラーの基本位置を調整してください。
センサーにより周囲の明るさを検知し、後続車のヘッドライトがまぶしいときは自動的に明るさを抑えます。
セレクターレバーが“R”の位置にあるときは、自動防眩機能は作動しません。



QM1008

ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。



操作手順

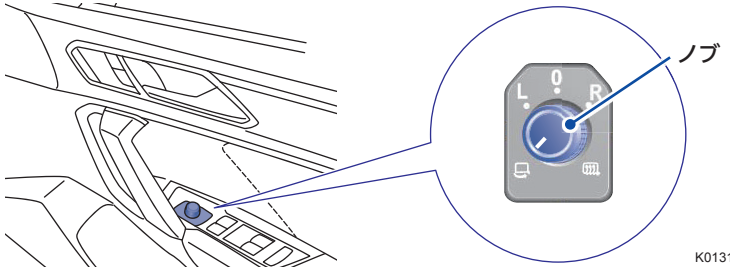
1. ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
2. ノブを前後、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
3. ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

アドバイス

運転席側を調整すると、助手席側も同時に調整されます。助手席側を調整する場合は、先に運転席側を調整してください。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーの格納

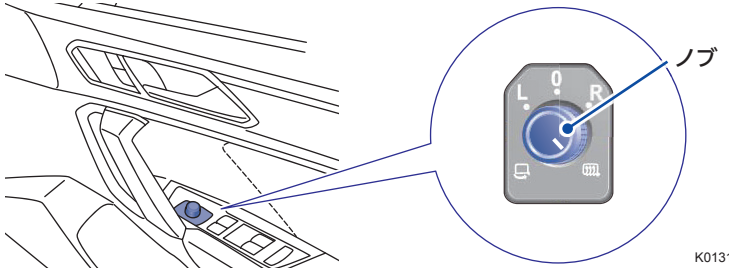
運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。



車両をリモコンキー、またはスマートエントリー＆スタートシステム“Keyless Access”で施錠することでも自動的に格納されます（イグニッションスイッチを“ON”にすると復帰）。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブを に合わせると、外気温度が 20℃以下の場合にドアミラーヒーターが作動します。



アドバイス

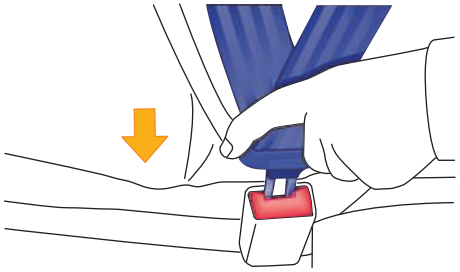
ドアミラーヒーターを使用しないときは、スイッチを“0”（OFF）にしてください。

シートベルト

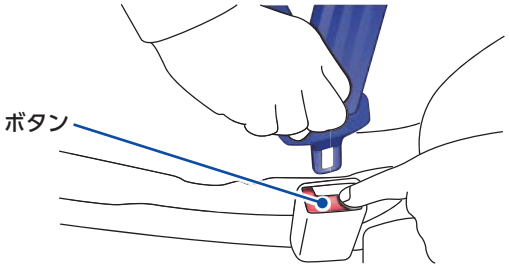
全席に 3 点式シートベルトが装備されています。

シートベルトの取り付け、取り外し

バックルに差し込むと自動的に固定されます。

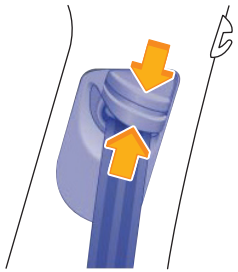


バックルのボタンを押すと外れます。



シートベルトの高さ調整（フロントシート）

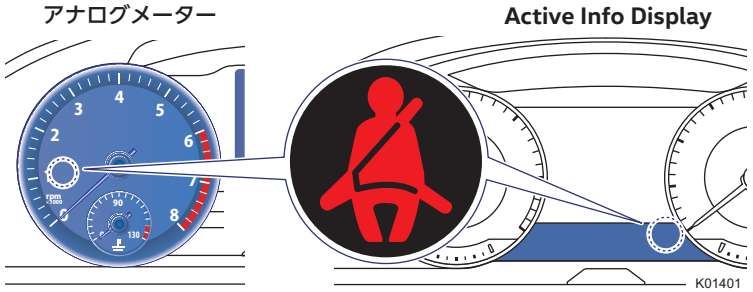
ベルトガイドをつまんで高さを調整してください。



Q0018

シートベルト警告灯

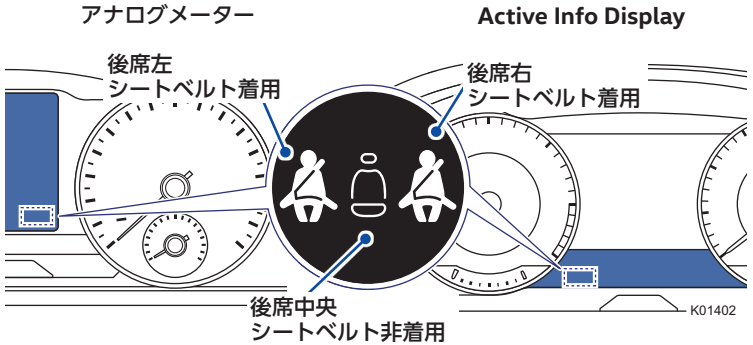
運転席、助手席の乗員がシートベルトを着用せずに 25km/h 以上で走行すると、コンビネーションメーターのディスプレイの警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。



助手席の上に物が置いてある場合も、乗員がいると判断し、警告灯が点灯します。
助手席に置いてある物を別の場所に置き直すか、シートベルトで固定してください。

後席シートベルト着用表示

イグニッションスイッチを ON にしたあと、後部座席でシートベルトが着用されているかどうか、コンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。



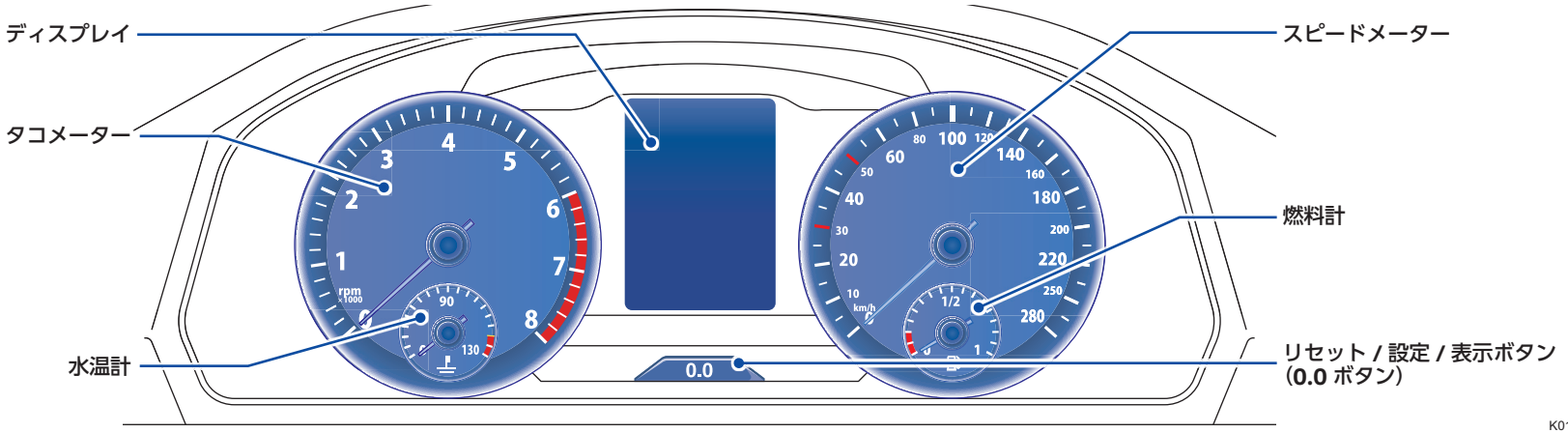
走行中に後席シートベルトが外された場合、この後席シートベルト着用表示が点滅します。車速が 25km/h を超えるとさらに警告音が鳴ります。

目次へ

運転する

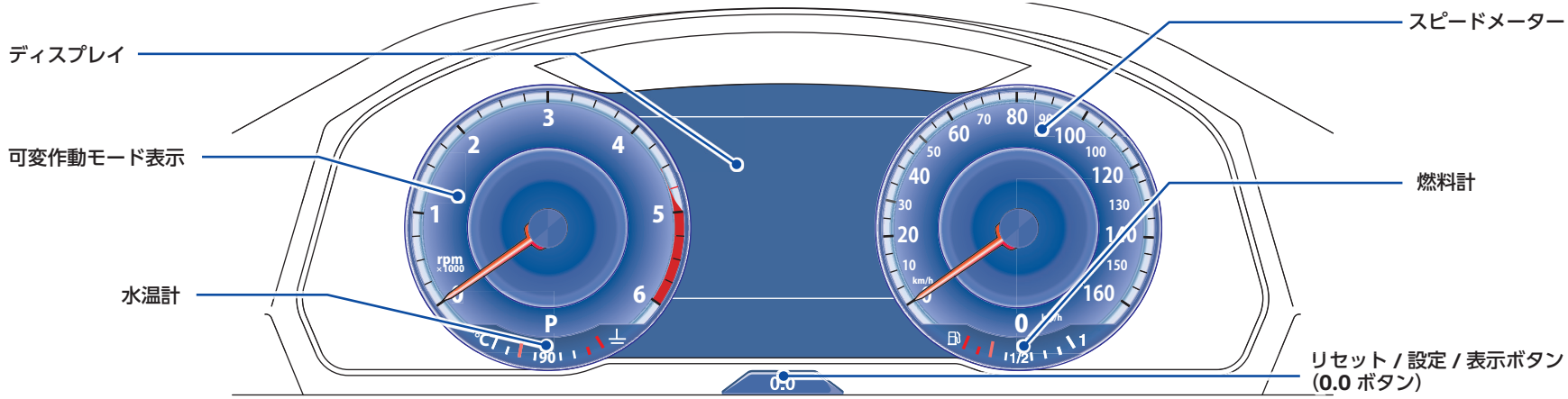
コンビネーションメーター

アナログメーター



K01389

デジタルメータークラスター“Active Info Display”



K01322

時計の設定方法

操作手順

1. **すべてのドアを閉めます。**
2. **ディスプレイに「時間」と表示されるまで 0.0 ボタンを押し続けます。**
3. **時表示がハイライトされますので、時を変更する場合は 0.0 ボタンを押して正しい時を設定してください。**
4. **分表示がハイライトされるまで待ちます。分を変更する場合は 0.0 ボタンを押して正しい分を設定してください。**
5. **0.0 ボタンから手を離したまま待つと、ハイライト表示が終了し設定が完了します。**

時計はインフォテイメントシステムでも設定することができます。

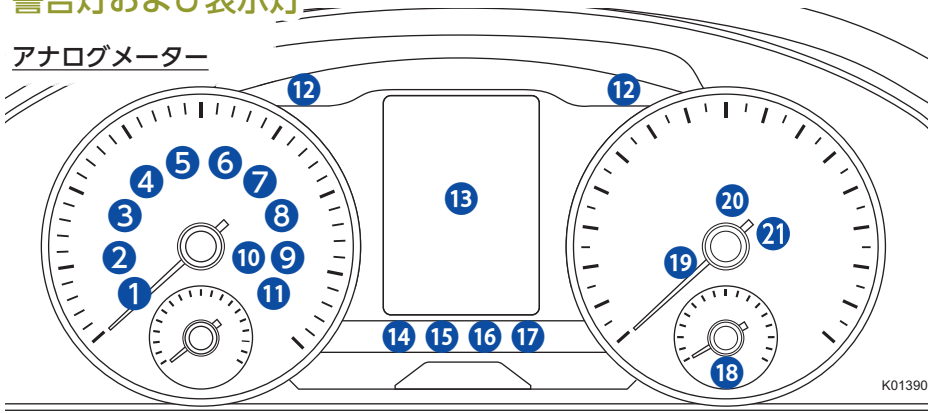
走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。
0.0 ボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

運転

警告灯および表示灯

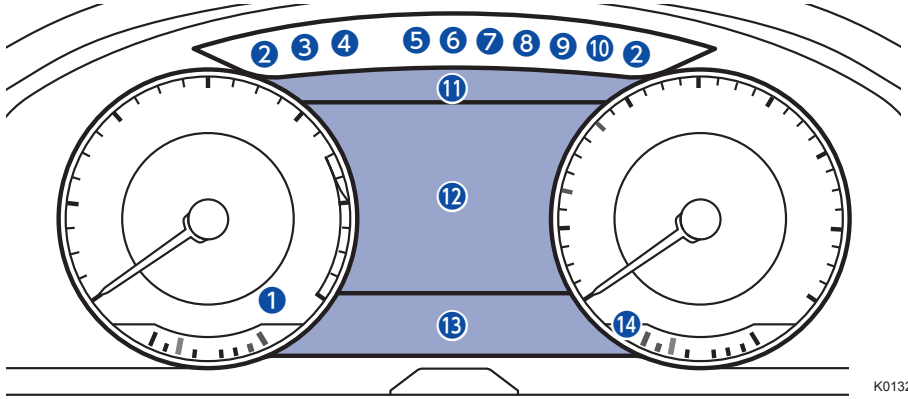
アナログメーター



位置	シンボル	意味
1		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
2		前席シートベルト非着用
3		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
4		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
4		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
5	EPC	エンジン制御システム故障
6		点灯：排気ガス浄化システム故障 点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷
7		点灯：ESC 故障、バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
8	ABS	ABS 故障
9		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
10	OFF	ASR OFF
11		ハイビーム点灯
12		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
13		冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
13		エンジンオイル油圧低下
13		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
13		充電系統故障
13		エレクトロニックパーキングブレーキ故障
13		ライトのバルブ切れ

位置	シンボル	意味
13		エンジン回転数制限
13		ウインドーウォッシャー液量少
13		点灯：エンジンオイル量少 点滅：エンジンオイルシステム故障
13		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動停止
13	OFF	プリクラッシュブレーキシステム OFF
13		トランスミッション故障
13		後席シートベルト非着用
13		後席シートベルト着用
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車未検知
13		白色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール（ACC）非作動
13		サービスリマインダー、点検時期
13		外気温度 4˚C 以下
13	A	Start/Stop システム　エンジン自動停止中
13		Start/Stop システム　エンジン作動中、自動停止不可、自動再始動不可
13	eco	低燃費走行状態
13		取扱説明書を確認してください
14	P	エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
14	P	オートホールド作動中
15		ディスプレイの表示を確認してください
15		ディスプレイの表示を確認してください
16		点灯：スピードリミッター ON、アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中 点滅：スピードリミッター設定速度超過
17		レーンキープアシストシステム待機
17		レーンキープアシストシステム作動中
18		燃料残量少
19		ブレーキパッド摩耗
20		リヤフォグランプ点灯
21		ブレーキペダルを踏んでください
21		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください

Active Info Display



K01323

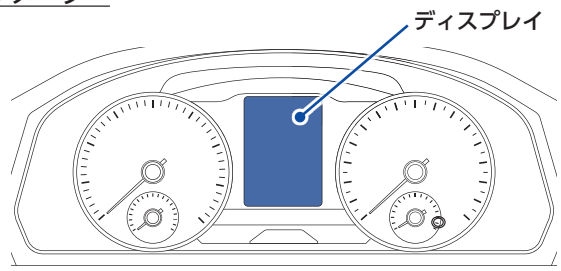
位置	シンボル	意味
1		エンジン冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
2		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
3		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
4		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
4		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可／ロック不可
5		エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
5		オートホールド作動中
6		ディスプレイの表示を確認してください
6		ディスプレイの表示を確認してください
7		点灯：排気ガス浄化システム故障 点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷
8		点灯：ESC 故障、バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
9		ABS 故障
10		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
11		外気温度 4℃以下
12		エンジンオイル油圧低下
12		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
12		充電系統故障
12		充電系統故障
12		エレクトロニックパーキングブレーキ故障
12		ライトのバルブ切れ
12		エンジン回転数制限

位置	シンボル	意味
12		ウインドーウォッシャー液量少
12		点灯：エンジンオイル量少 点滅：エンジンオイルシステム故障
12		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
12		トランスミッション故障
12		アダプティブシャシーコントロール（DCC）故障
12		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
12		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動
12		サービスリマインダー、点検時期
12		取扱説明書を確認してください
13		前席シートベルト非着用
13		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
13	EPC	エンジン制御システム故障
13		ASR OFF
13		ハイビーム点灯
13		プリクラッシュブレーキシステム OFF
13		後席シートベルト非着用
13		後席シートベルト着用
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動停止
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中先行車未検知
13		アダプティブクルーズコントロール（ACC）作動中先行車検知
13		レーンキープアシストシステム待機
13		レーンキープアシストシステム作動中
13		ダイナミックライトアシスト“Dynamic Light Assist”作動中
13	eco	低燃費走行状態
13		Start/Stop システム　エンジン自動停止中
13		Start/Stop システム　エンジン作動中、自動停止不可、自動再始動不可
13		ブレーキパッド摩耗
13		リヤフォグランプ点灯
13		ブレーキペダルを踏んでください
13		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください
14		燃料残量少

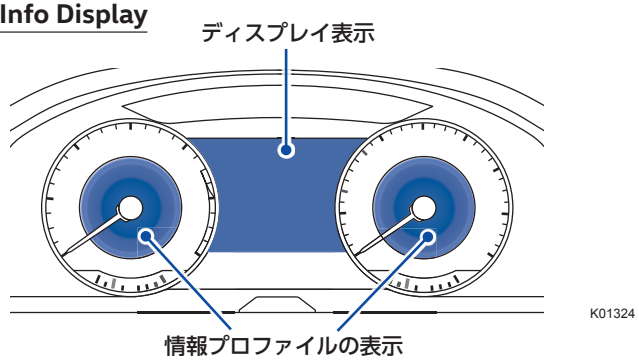
ディスプレイ表示 / 情報プロファイル表示

コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。

アナログメーター

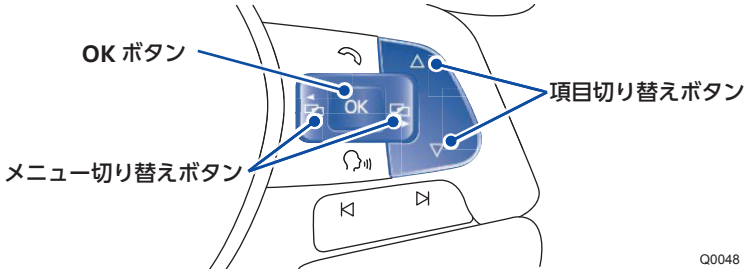


Active Info Display



マルチファンクションステアリングホイールでの操作

ディスプレイ表示 / 情報プロファイル表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



メニューと表示項目

メニュー	項　目
走行データ (ディスプレイ表示)	**消費量／燃費** 現在の燃費を表示します。
	⌀ **燃費／平均燃費 ※** 平均燃費を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 300m 走行後に表示されます。
	走行可能距離 残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	走行時間 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの経過時間を表示します。
	走行距離 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの走行距離を表示します。
	⌀ **速度／平均速度 ※** 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
	車速 現在の車速を表示します。
	警告速度 警告速度の設定をすることができます。
	油温 エンジンオイル温度を表示します。
アシストシステム	以下の ON/OFF を切り替えることができます。 ・ レーンキープアシストシステム（Lane Assist） ・ レーンチェンジアシストシステム（Side Assist） ・ リヤトラフィックアラート ・ プリクラッシュブレーキシステム（Front Assist）
	ACC および Lane Assist の作動状態を表示します。
ナビゲーション	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
オーディオ	
電話	
車両ステータス	警告 / 情報テキストを表示します。

メニュー	項　目
情報プロファイル表示 (Active Info Displayのみ)	**クラシック** 左右丸型メーター共に従来のコンビネーションメーターと同様の表示になります。
	車速＆ギヤ 左側丸型メーター：現在のセレクターレバーの位置が表示されます。 右側丸型メーター：現在の車速がデジタル表示されます。
	燃費＆走行可能距離 左側丸型メーター：現在の燃費がグラフィック表示、および平均燃費がデジタル表示されます。 右側丸型メーター：走行可能距離がデジタル表示されます。
	効率 左側丸型メーター：現在の燃費がグラフィック表示、および平均燃費がデジタル表示されます。 右側丸型メーター：低燃費の走行状態が表示されます。
	ナビゲーション 左側丸型メーター：ルート案内が作動している場合は目的地までの残存距離および到着時刻が表示され、ルート案内が作動していない場合は海抜が表示されます。 右側丸型メーター：ルート案内が作動している場合は矢印ナビが表示され、ルート案内が作動していない場合はコンパスが表示されます。
	ドライバーアシストシステム 左側丸型メーター：各種ドライバーアシストシステムがグラフィック表示される、または走行時間がデジタル表示されます。 右側丸型メーター：矢印ナビが表示される、またはコンパスが表示されます。
	オフロード 左側丸型メーター:ステアリングアングルが表示されます。 右側丸型メーター：コンパスが表示されます。

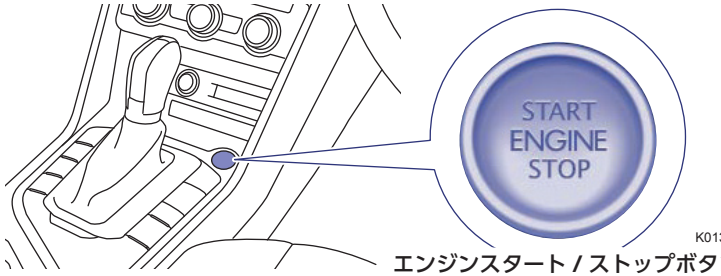
※：以下の 3 種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

- スタート後‥　イグニッションスイッチを ON にしてからのデータを表示します。イグニッションスイッチ OFF 後、約 2 時間経過するとリセットされます。
- 給油後‥‥‥　前回給油以降のデータを表示します。給油するとリセットされます。
- 累計走行‥‥　累計走行データを表示します。積算での走行時間が 20 時間、もしくは 100 時間、または走行距離が 2,000km、もしくは 10,000km に達する毎にリセットされます。(仕様によって異なります)

始動・停止

エンジンスタート / ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート / ストップボタンで、エンジンを始動・停止します。



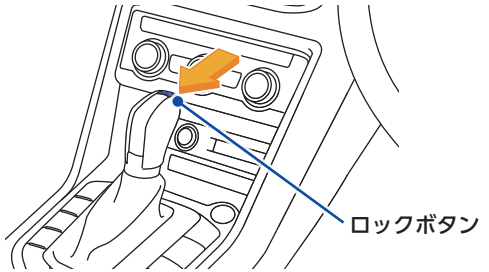
エンジンスタート / ストップボタン

目　的	操　作
エンジン始動	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート / ストップボタンを短く押します。
エンジン停止	エンジンスタート / ストップボタンを短く押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート / ストップボタンを短く押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



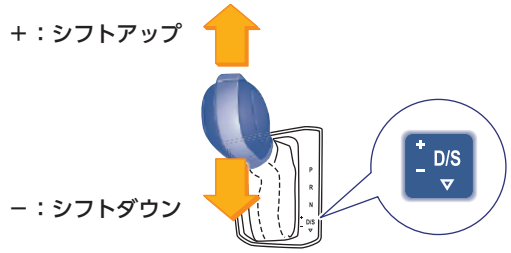
K01325

“D”と“S”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/S	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム S：スポーツプログラム
▽	“D”と“S”を切り替えるとき
＋ －	ティプトロニック（マニュアルモード）

ティプトロニック（マニュアルモード）

セレクターレバーを“D/S”の位置から左側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“＋”（前方に押す）でシフトアップ、“－”（後方に引く）でシフトダウンします。

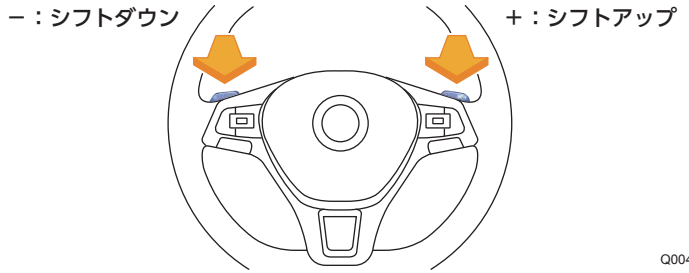


K01378

オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを右側に戻してください。

パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。
右側のパドルレバー“＋”を手前に引くとシフトアップ、左側のパドルレバー“－”を手前に引くとシフトダウンします。



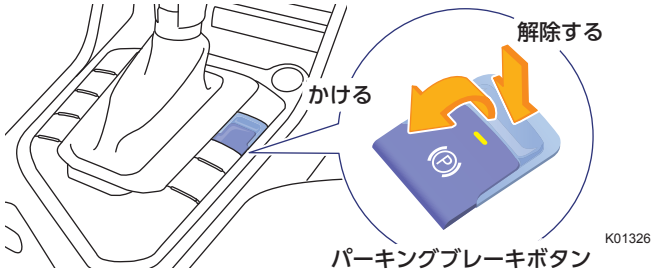
Q0041

セレクターレバーが“D/S”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。
オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“＋”を約１秒間、手前に引いてください。

パーキングブレーキ

エレクトロニックパーキングブレーキ

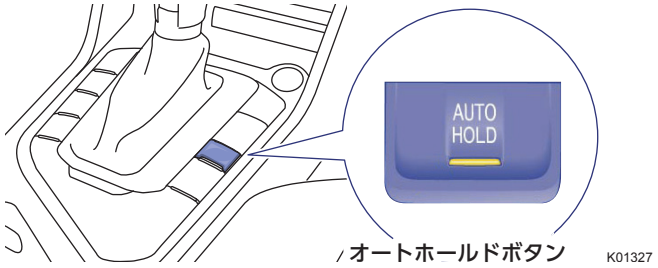
パーキングブレーキをかけるには、ボタンを引きます。
パーキングブレーキを解除するには、イグニッションを ON にしたあと、ブレーキペダルを踏みながらボタンを押します。
また、アクセルペダルを踏んで車両を発進させた場合も、パーキングブレーキは自動的に解除されます。



車両が動き出す可能性がある状態で運転席ドアを開けた時など、システムが不適切な駐車状態と判断した場合、パーキングブレーキが自動的に作動します。

オートホールド

オートホールドを ON にすると、停車後にブレーキペダルを放した時にパーキングブレーキが自動的に作動し、車両を停止状態で保持することができます。



Start/Stop システム

Start/Stop システムは、信号待ちや渋滞などで停止しているとき、自動的にエンジンを停止・再始動させるシステムです。
車両を停止させたあと、ブレーキペダルを踏み続けると、エンジンが自動停止します。自動停止中にブレーキペダルを放す、またはアクセルペダルを踏むと、エンジンが自動再始動します。
エンジンの作動状態はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

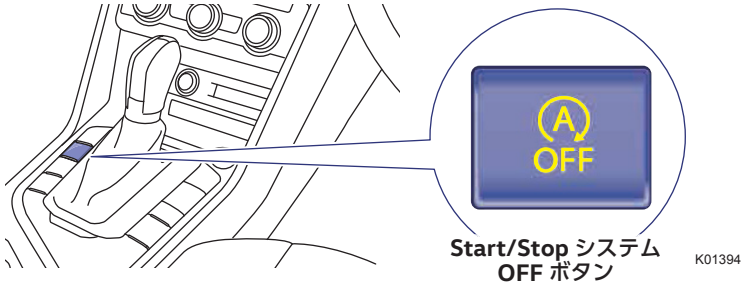
···· エンジン自動停止中

···· エンジン作動中、自動停止不可、または自動停止中で自動再始動できない

自動再始動できない場合、セレクターレバーを“P”に戻してから手動でエンジンを始動してください。
自動停止・自動再始動が可能な条件の詳細は取扱説明書の「Start/Stop システム」を参照してください。

Start/Stop システムの機能停止

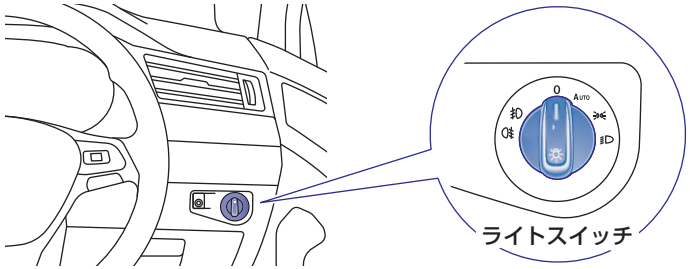
Start/Stop システムの機能を停止する場合は、セレクターレバー横の Start/Stop システム OFF ボタンを押します。
OFF にするとボタンの表示灯が黄色に点灯します。



ライト

ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



K01379

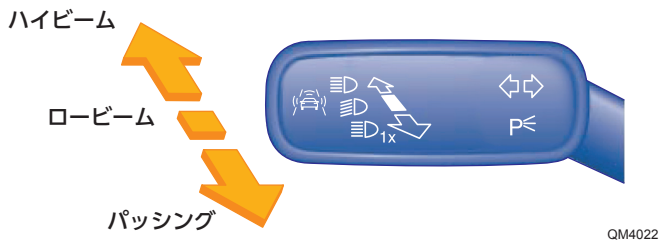
0 ····ヘッドライト消灯

AUTO ····周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯

····スモールライト点灯

····ヘッドライト点灯（ロービーム）

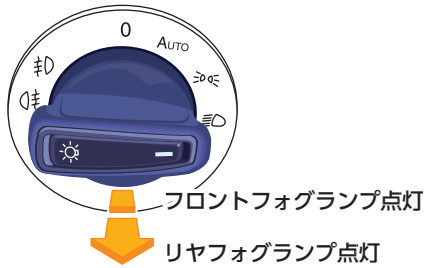
ステアリングホイール左側のレバーを前方に押すとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。
レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。(パッシング)



QM4022

フォグランプ

ライトスイッチが AUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でライトスイッチを手前に引くと、フォグランプが点灯します。

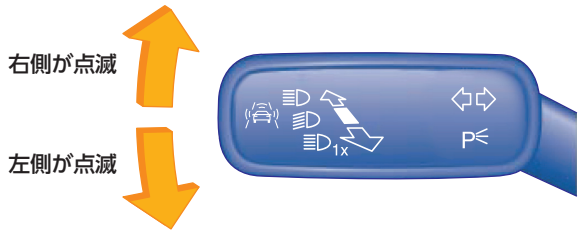


Q0027

手前に 1 段階目 ····· フロントフォグランプ点灯
手前に 2 段階目 ····· リヤフォグランプ点灯

方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示灯を点滅させます。



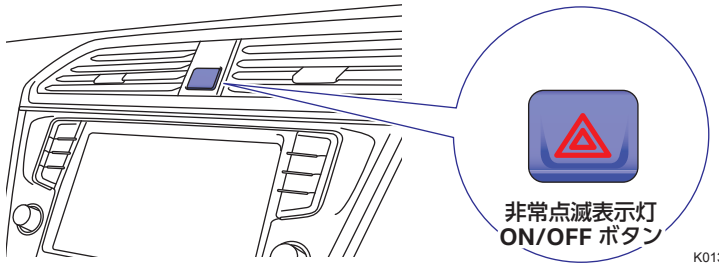
QM4024

車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示灯が 3 回点滅します。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

非常点滅表示灯

センターコンソールの非常点滅表示灯 ON/OFF ボタンで非常点滅表示灯を点滅します。



K01328

ウインドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。

Q0030

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。
調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。
レインセンサー装備車は、インフォテイメントシステムで自動作動の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。

Q0031

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーが ON のときにセレクターレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

燃料の給油

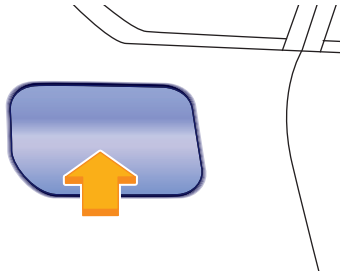
給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。
- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクターレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作手順

1 キー、またはセンターロッキングスイッチで車両を解錠します。

2 フューエルリッドを開きます。

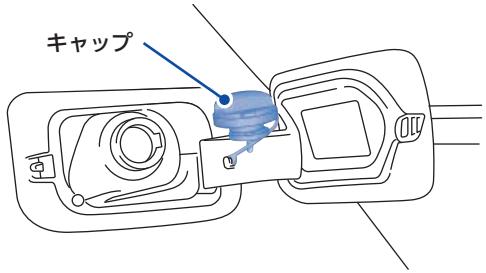
フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
フューエルリッドの後部を押すと手前に開きます。



K01329

3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドのヒンジ部に掛けます。



K01330

4 給油します。

使用燃料 ‥‥‥‥ 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）

5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップが止まるまで時計方向に回します。

6 フューエルリッドを閉めます。

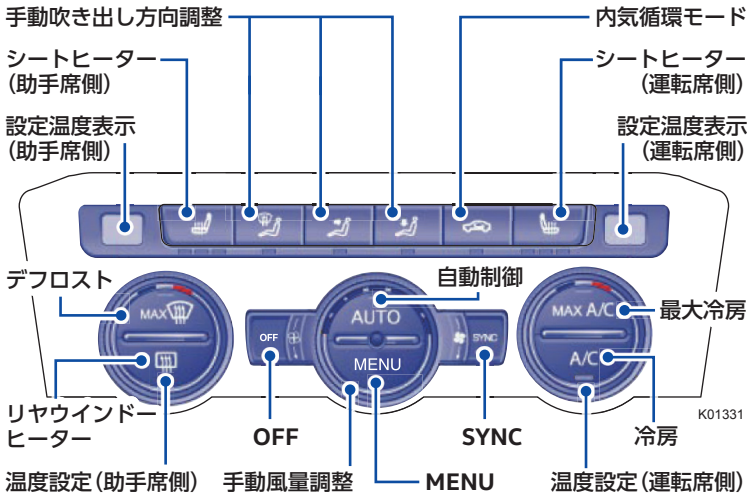
目次へ

室内装備

フルオートエアコンディショナー

フルオートエアコンディショナーの操作

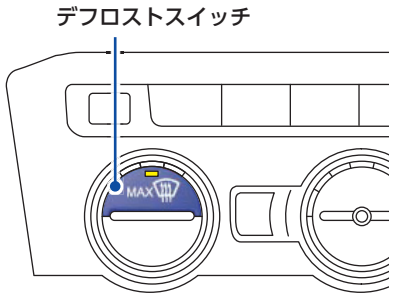
センターコンソールのコントロールパネルで操作します。



- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。
- 自動制御を ON にすると、設定温度に応じて、風量、送風方向を自動的に制御します。手動でこれらを制御すると、自動制御は OFF になります。
- SYNC スイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯して助手席側の設定温度が運転席側と連動します。連動を解除するときは、もう一度 SYNC スイッチを押すか、助手席側の温度設定ダイヤルを回します。
- MENU スイッチを押すと、インフォテイメントシステムでエアコンの設定をすることができます。

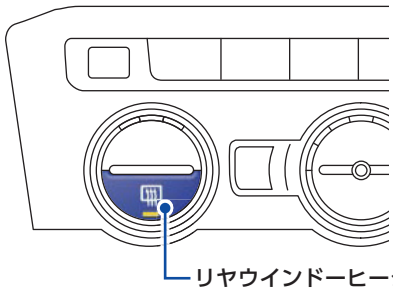
デフロスト機能

フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。
デフロストスイッチを押すとデフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。
デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、吹き出し口が自動的にフロントウインドー側に設定されます。
また、外気温との温度差があるときは、冷房システムが ON になります。



リヤウインドーヒーター

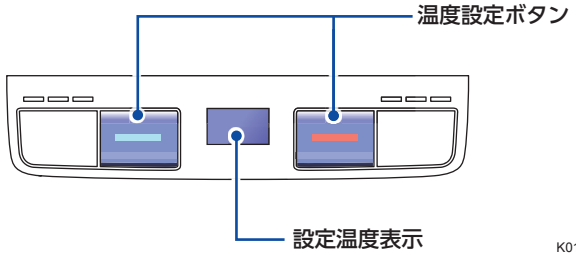
リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。
リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。
リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。



K01333

後席用温度設定ボタン

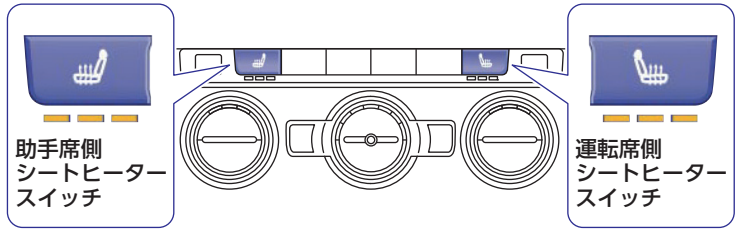
センターコンソール後部にある後席用温度設定ボタンで、後席の温度を設定することができます。設定した温度は、中央のディスプレイに表示されます。



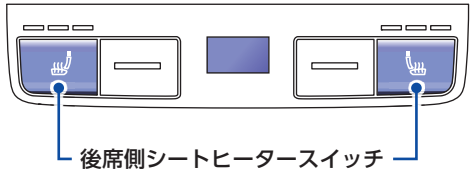
K01334

シートヒーター

センターコンソール上部および後席用温度設定ボタンにあるシートヒータースイッチを押すと、シート座面と背もたれのヒーターが作動します。
ヒーターの強さは 3 段階です。スイッチを押すごとに、強（表示灯が 3 つ点灯）⇒中（表示灯が 2 つ点灯）⇒弱（表示灯が 1 つ点灯）⇒ OFF（表示灯が消灯）の順に切り替わります。



Q0095



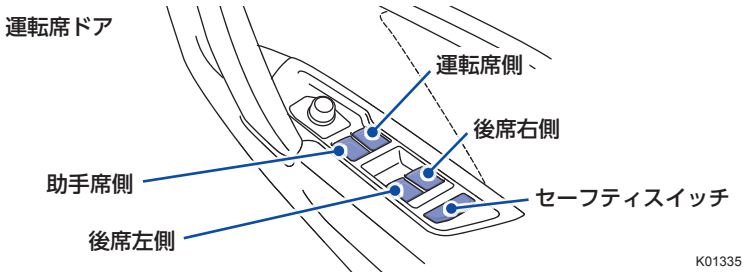
K01371

下記の状態のときは、シートヒーターを ON にしないでください。

- シートに座っていないとき
- シートにカバーを装着しているとき
- シートにチャイルドシートを装着しているとき
- シート面に湿気がある、または濡れているとき
- 車内温度または外気温度が 25℃以上のとき

パワーウインドー

各ドアにあるパワーウインドースイッチで、ウインドーの開閉を操作します。



セーフティスイッチを押すと、後席ドアのパワーウインドーは作動しなくなります。

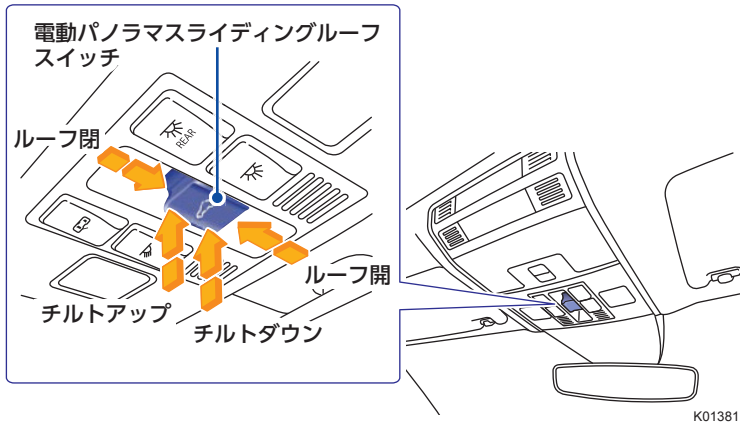
アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。
リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。
全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示灯が 1 回点滅します。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

電動パノラマスライディングルーフ

電動パノラマスライディングルーフ

ルーフにあるスイッチで、電動パノラマスライディングルーフの開閉とチルト機能を操作します。



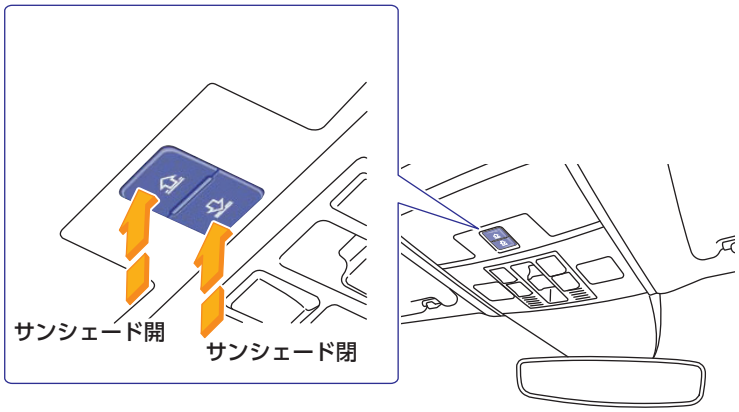
1 段階目・・・・押している間、開閉する
2 段階目・・・・自動で全開 / 全閉する（再度押すと停止）

アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。
リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。
全てのウインドーおよび電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示灯が 1 回点滅します。
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

電動サンシェード

ルーフにあるスイッチで、電動サンシェードの開閉を操作します。



1 段階目・・・・押している間、開閉する
2 段階目・・・・自動で全開 / 全閉する（再度押すと停止）

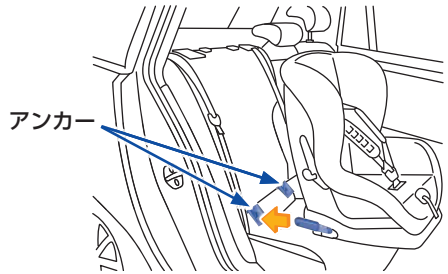
電動パノラマスライディングルーフを開けると連動して開きます。
電動パノラマスライディングルーフが開いているときは、開けているところまで閉めることができます。

チャイルドシート

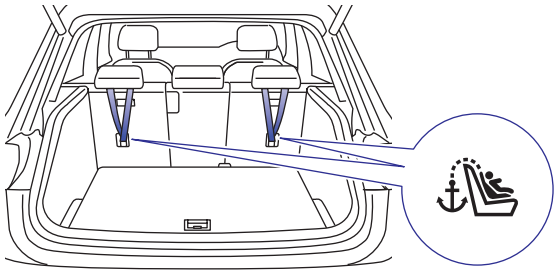
チャイルドシートを取り付けるときは、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

ISOFIX チャイルドシートの取り付け

後部座席には、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。
ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシート座面後方のアンカーに固定します。



トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。



便利な機能

エアバッグ

運転席側フロント、運転席足元、助手席側フロント、前席サイド、後席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

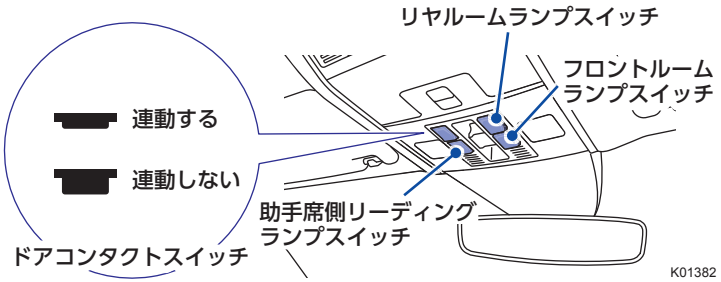
助手席側エアバッグの機能停止

後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。
助手席側ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。

助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が切り替わります。

ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリヤルームランプがあります。
ドアコンタクトスイッチにより、ドアの開閉に連動して自動的に点灯 / 消灯させることができます。

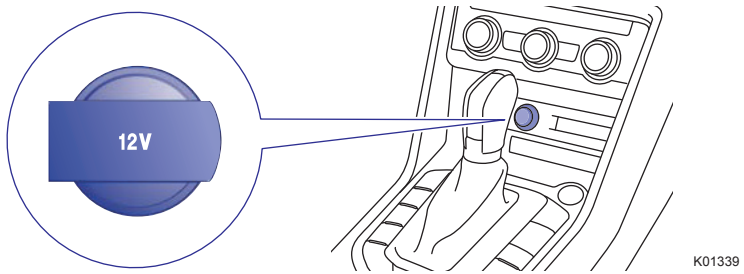


フロントルームランプの助手席側およびリヤルームランプの左右は、それぞれ独立したリーディングランプとしても点灯することができます。

12V ソケット

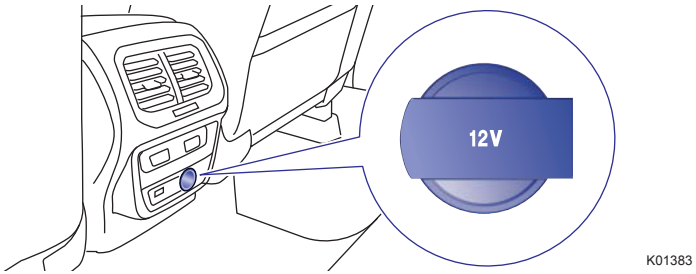
12V ソケットはセンターコンソール前部、センターコンソール後部およびラゲージルームにあります。
最大消費電力は 120W です。同時使用時は総消費電力が 190W を超えないようにしてください。

センターコンソール前部



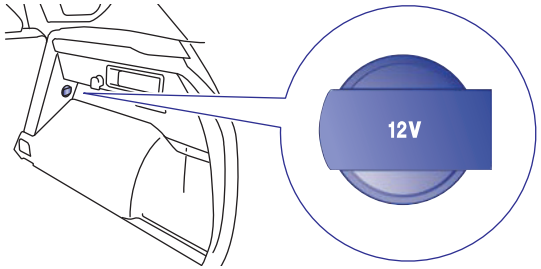
便利な機能

センターコンソール後部



K01383

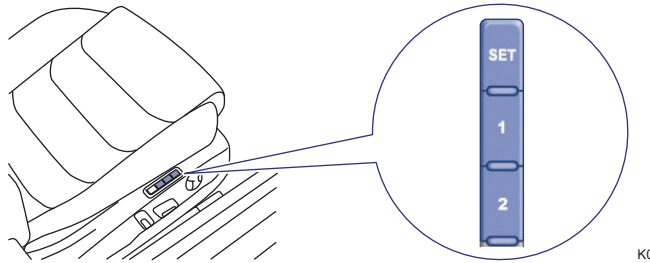
ラゲージルーム



K01384

メモリーシート

運転席シートおよびドアミラーの位置を記憶することができます。
運転席シートおよびドアミラーの位置は 2 パターン記憶することができます。



K01385

操作手順

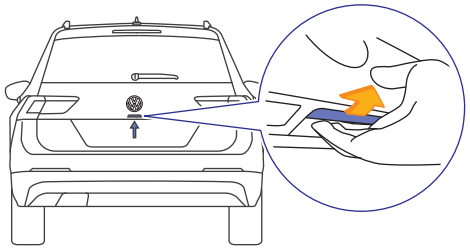
1. イグニッションスイッチを **ON** にします。
2. 運転席シート、およびドアミラー位置を調整します。
3. 調整が完了したら、「**SET**」ボタンを **1** 秒以上押した後、**10** 秒以内に「**1**」または「**2**」ボタンを押します。正常に記憶されると、信号音が鳴り設定が完了したことをお知らせします。

荷物の積載

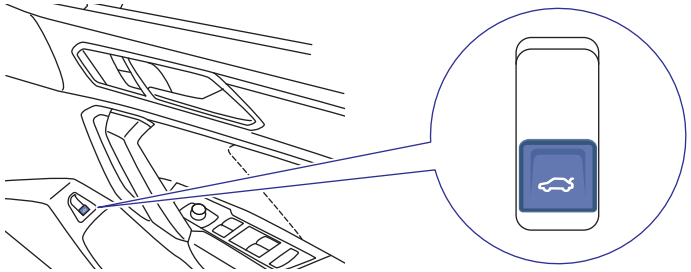
ラゲージルーム

テールゲートを開ける

テールゲートリリースボタンを少し持ち上げる、または運転席ドアについているテールゲートリリーススイッチを引くと、テールゲートが自動で開きます。



K01340



K01341

Easy Open

車両キーを保持したユーザーが、リヤバンパーの下で足を動かすと、テールゲートが自動で開きます。

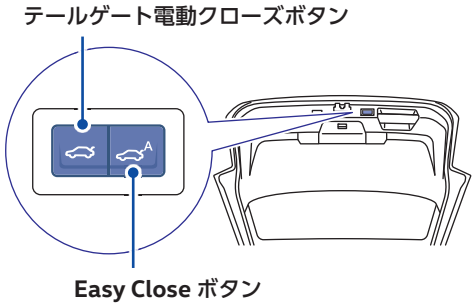
K01342

アドバイス

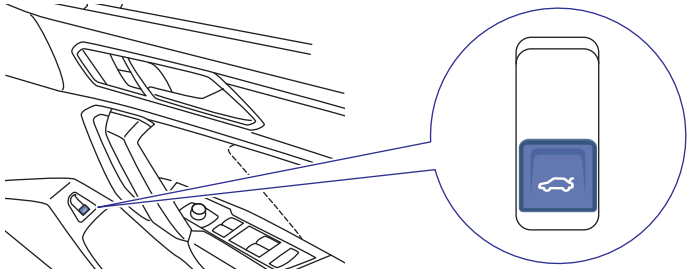
この機能はインフォテイメントシステムで設定を切り替えることができます。

テールゲートを閉める

テールゲート内側のボタンを押す、または運転席ドアについているテールゲートリリーススイッチを引くと、テールゲートが自動で閉まります。



K01344



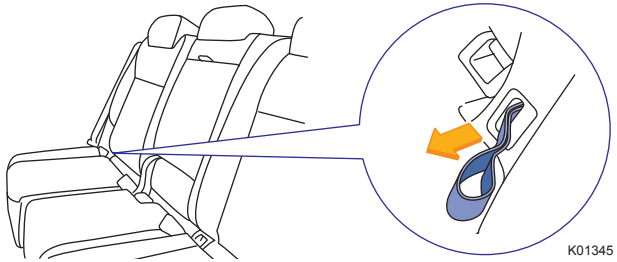
K01341

Easy Close

Easy Close ボタンを押し、表示灯が点滅している間に車両キーを保持したユーザーが、開いているテールゲート周辺から離れると、テールゲートが自動的に閉まります。
テールゲートが自動で閉まるときは、Easy Close ボタンの表示灯がゆっくり点滅し警告音が鳴ります。

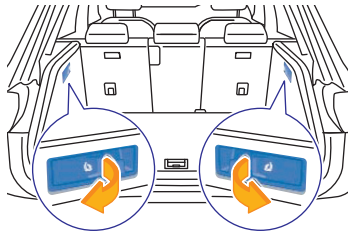
リヤシートの背もたれを倒す

分割可倒式リヤシートの背もたれを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。
リヤシートのバンドを前方に引き、背もたれを前方に倒します。



K01345

ラゲージルームにあるロック解除レバーでも操作可能です。



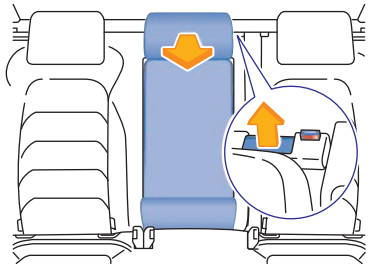
K01346

リヤシートの背もたれを戻す

背もたれを元に戻すときは、背もたれを起こし、ロックされるまで後方に押し込みます。

ロードスルー

ロック解除レバーを引き、ロードスルーシステムのカバーを手前に倒して、長い荷物を車内に積載することができます。

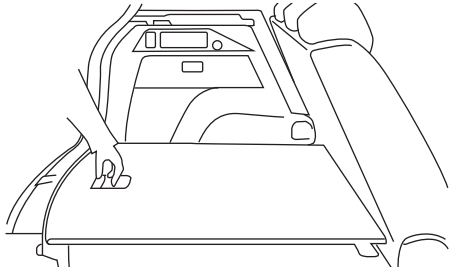


K01386

ラゲージルームフロアパネル

ラゲージフロアをハイポジションにする

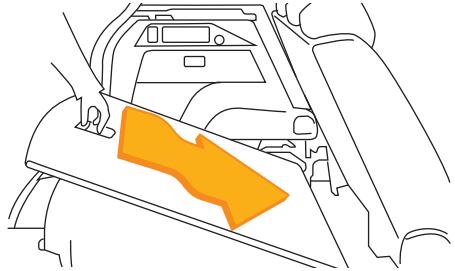
この位置にすると、リヤシートバックレストを折りたたんだときに、ラゲージフロア全体がほぼ同じ高さになります。広くフラットなフロアを活用した荷物の積載ができます。



K01349

ラゲージフロアの高さを変える

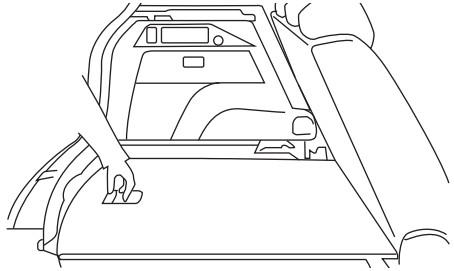
ハイポジションからローポジションに変更するときは、フロアボードの手前側を少し持ち上げて、奥側を下方に押し込みます。



K01350

ラゲージフロアをローポジションにする

この位置にすると、ラゲージルーム容量を最大限に活用した荷物の積載ができます。



K01351

運転支援

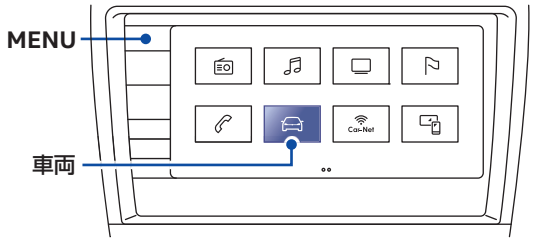
インフォテイメントシステム

車両設定

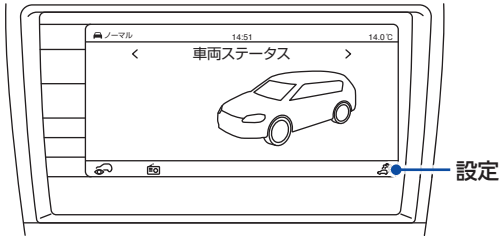
タッチパネルディスプレイを使って、車両の様々な機能の設定をすることができます。

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 車両設定画面が表示されるので、各項目を選択し設定します。



QM8010



QM8007

車両設定画面では、以下の各種設定を行うことができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
ESC システム	—	• 以下のシステムの ON・OFF を切り替えることができます。 - トラクションコントロールシステム（ASR） - エレクトロニックスタビリゼーションプログラム（ESC）
タイヤ	タイヤ空気圧モニタリングシステム	• 車両の積載状態に応じて、タイヤの規定空気圧を選択することができます。
	ウインタータイヤ	• 速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。
パーソナライズ	パーソナライズ	• ユーザーアカウントの ON・OFF を切り替えることができます。
	アカウントを選択	• 複数のユーザーアカウントから選択することができます。
	設定	• 以下の機能を設定することができます。 - キー割り当ての手動または自動 - 現在のユーザーアカウントにキーの割り当て - すべてのリセット
ライト	オートライトシステム	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - ダイナミックコーナリングライト - オートライトシステム（雨天時） - 車線変更点滅機能 • 以下の機能を設定することができます。 - ダイナミックコーナリングライトの始動時間 - トラベルモード（右側 / 左側通行）
	ルームランプ	• 以下の機能を設定することができます。 - メーター / スイッチの明るさ
	「カミングホーム / リービングホーム」機能	• 以下の機能を設定することができます。 - カミングホーム機能の作動時間 - リービングホーム機能の作動時間

メニュー	サブメニュー	設定方法
ドライバーアシスト	ACC（アダプティブクルーズコントロール）	• 前回選択した設定の適用の ON・OFF を切り替えることができます。 • 以下の機能を設定することができます。 - 走行プログラム - 車間距離レベル
	Front Assist（プリクラッシュブレーキシステム）	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist” - 事前警告 - 車間距離警告の表示
	Lane Assist	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - レーンキープアシストシステム“Lane Assist” - アダプティブレーンガイド
	Side Assist（レーンチェンジアシスト）	• レーンチェンジアシストシステム“Side Assist Plus”の ON・OFF を切り替えることができます。 • 警告灯の明るさを調整することができます。
	疲労検知システム	ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の ON・OFF を切り替えることができます。
	プロアクティブオキュパントプロテクション	プロアクティブオキュパントプロテクションの ON・OFF を切り替えることができます。
Park Assist	パークディスタンスコントロール	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - パークディスタンスコントロールの自動作動 • 以下の機能を設定することができます。 - フロント / リヤの音量 - フロント / リヤのトーンレベル - パークディスタンスコントロール作動時のインフォテイメントシステムの音量
	後退時衝突軽減ブレーキ機能	• 機能の ON・OFF を切り替えることができます。
	リヤトラフィックアラート	• 機能の ON・OFF を切り替えることができます。
アンビエントライト	—	• 以下の機能を設定することができます。 - 全てのインテリアアンビエントライトの明るさ - 個別のインテリアアンビエントライトの明るさ

メニュー	サブメニュー	設定方法
ミラーおよびワイパー	ミラー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - ドアミラーの同期調整 - 後退時のミラー下向き調整 - 施錠時のミラー格納
	ワイパー	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 自動ワイパー（雨天時） - 後退時のリヤウインドーワイパー作動
開閉	ウインドー操作	• ウインドーコンビニエンスオープンの設定をすることができます。
	集中ドアロック	• ドア解錠の設定をすることができます。 • 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - 走行中のオートロック
コンビネーションメーター	マルチファンクションインジケーター	• コンビネーションメーターのディスプレイに表示させる項目を選択することができます。
ヘッドアップディスプレイ	ディスプレイ	• 以下の機能を設定することができます。 - 明るさ - カラースキーム
	内容	• 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 - アダプティブクルーズコントロール（ACC） - ルート案内 - レーンキープアシストシステム“Lane Assist”
日付と時間	—	• 時刻や日付などの設定をすることができます。
単位	—	• 距離や車速などの単位を設定することができます。
サービス	—	• 以下のデータが表示されます。 - 車体番号 - 次回の点検整備の時期 - 次回のエンジンオイル交換の時期
工場出荷時設定	—	• 以下の設定をリセットすることができます。 - 全ての設定 - ドライバーアシスト - Park Assist - アンビエントライト - ライト - ミラーおよびワイパー - 開閉 - コンビネーションメーター - ヘッドアップディスプレイ - パーソナライズ

ドライビングプロファイル

ドライビングプロファイルとは

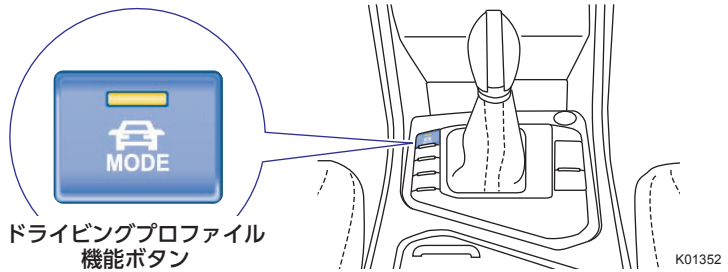
各モードごとにエンジンやトランスミッションなどの設定を最適化することで、走行状況などに応じてドライバーのお好みの運転特性を選択することができます。

ドライビングプロファイルの切り替えかた

ドライビングプロファイル機能ボタンを押すごとに、ドライビングプロファイルが切り替わります。
インフォテイメントシステムのディスプレイに選択中のドライビングプロファイルが表示されます。
以下の 5 つのドライビングプロファイルが選択できます。
選択できるドライビングプロファイルの種類は車種により異なります。

動画を再生

- エコ
- コンフォート
- ノーマル
- スポーツ
- カスタム



エコ

燃費を重視した特性になるため、低燃費運転をしたいときに選択します。

コンフォート

快適性を重視した特性になるため、悪路を走行するときや、高速道路を長距離走行するときに選択します。

ノーマル

標準的な特性になるため、通常走行時に選択します。

スポーツ

走行性能を重視した特性になるため、スポーツ走行などをするときに選択します。

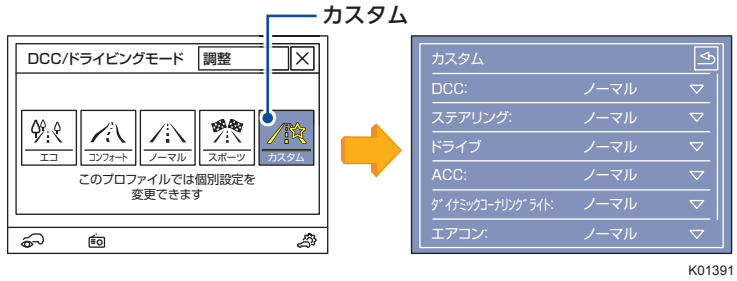
カスタム

各システムをお好みの特性に設定することができます。

ドライビングプロファイル「カスタム」の設定のしかた

操作手順

1. ドライビングプロファイル機能ボタンを押します。
2. ディスプレイの「カスタム」を選択します。
3. 「調整」を選択します。
4. システムごとの特性を選択します。

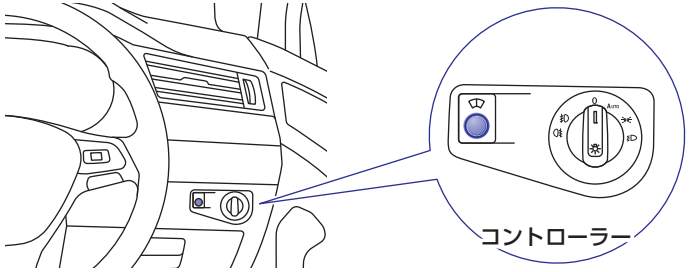


アドバイス

運転状態、空調の要否によって適切なドライビングプロファイルを選択してください。

ヘッドアップディスプレイ

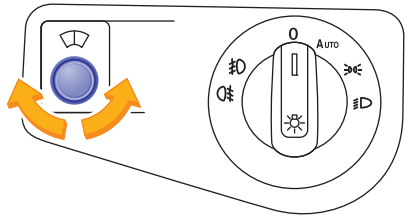
ヘッドアップディスプレイは、スピードメーター、アダプティブクルーズコントロール (ACC) の現在の状態、レーンキープアシストシステム“Lane Assist”の現在の状態を表示できます。
表示内容は、インフォテイメントシステムで選択します。
ヘッドアップディスレイを ON にするには、ライトスイッチの左側にあるコントローラーを押します。ディスプレイが出てきます。
OFF にするには、コントローラーを再度押します。ディスプレイは格納します。



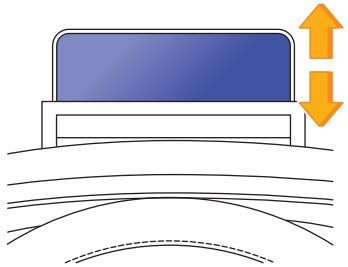
K01387

ヘッドアップディスプレイの高さ調整

ディスプレイの高さを調整することができます。
コントローラーを右に回すとディスプレイは上昇します。
左に回すと下降します。



K01388



QM4042

表示項目の選択のしかた

操作手順

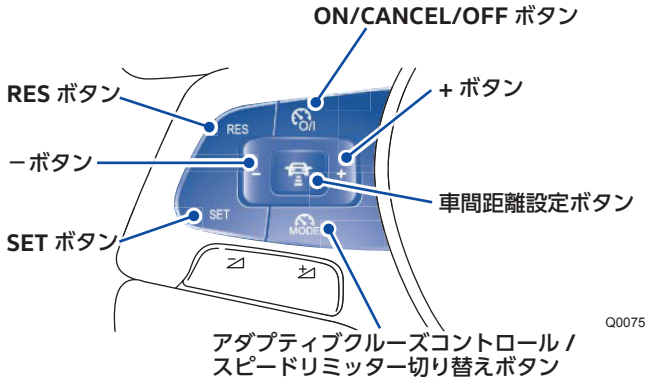
1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ヘッドアップディスプレイ」でディスプレイや内容を変更できます。

アダプティブクルーズコントロール“ACC”

レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。

動画を再生

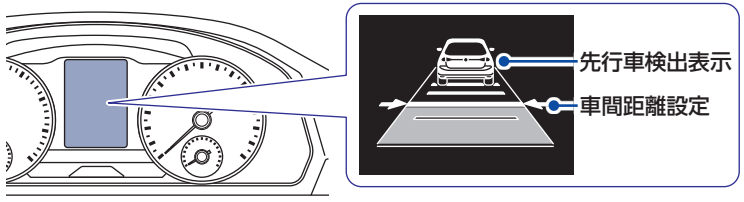
アダプティブクルーズコントロールは、
マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



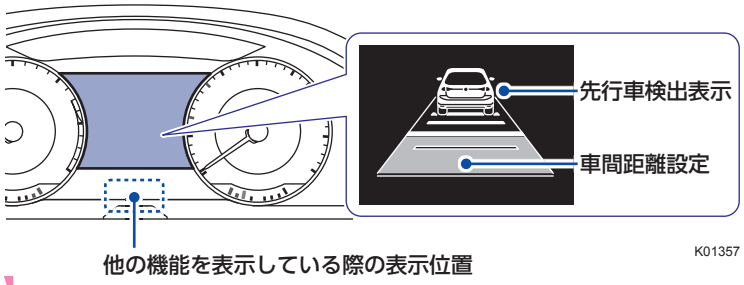
アダプティブクルーズコントロールが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイの中央に作動状態が表示されます。
他の機能（ナビゲーションシステム等）を表示させている場合は、ディスプレイ中央下部に小さく表示されます。

先行車検出表示・・・・先行車を検出しているときに表示します。
車間距離設定・・・・・現在の車間距離設定を表示します。

アナログメーター



Active Info Display



アドバイス

・車間距離設定は、ハイライトの範囲が狭いほど短く、広いほど長くなります。
・ディスプレイメニューの「表示」から「ドライバーアシストシステム」を選択することにより、左側丸型メーター部に作動状態を表示させることもできます。

操作手順

1 **ON/CANCEL/OFF ボタン を押し、システムを ON（スタンバイ状態※）にします。**

2 **設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。**

3 **車間距離設定ボタン を押し、車間距離を設定します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。**

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。

※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速や車間距離設定を変更することができます。

設定車速の変えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。

- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。
  + ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。
  − ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

車間距離設定の変えかた

車間距離設定ボタン を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

システムの停止のしかた

以下の方法で、システムを停止することができます。このとき、設定車速も消去されます。

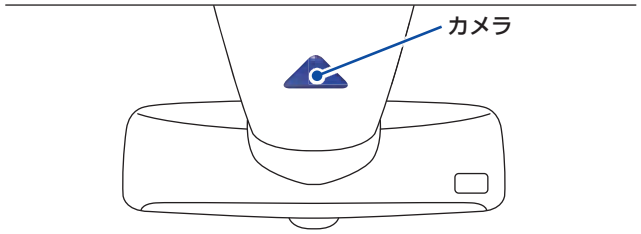
- ON/CANCEL/OFF ボタン を長押しします。
- システムを一時的に OFF にしているときは、ON/CANCEL/OFF ボタン を短く押します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

レーンキープアシストシステム“Lane Assist”

フロントガラス上部に設置されたカメラにより走行中の車線をモニタリングし、運転者が意図しない車線の逸脱を検知すると、自動的にステアリングを補正したり、ステアリングを振動させて注意を促します。

動画を再生

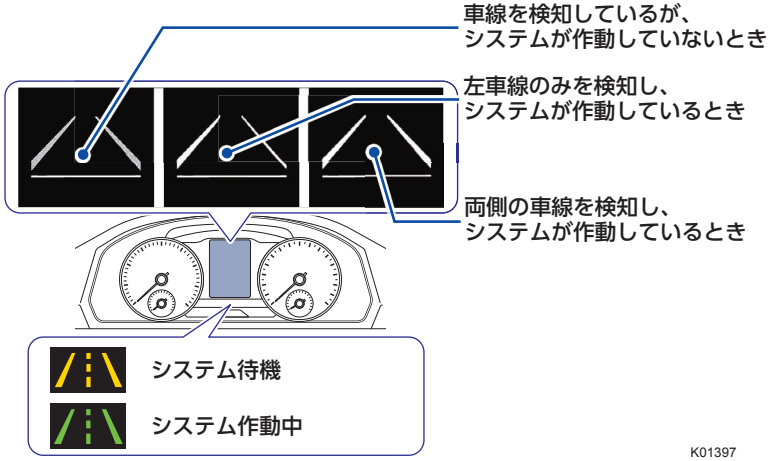


Q0034

コンビネーションメーターのディスプレイにレーンキープアシストシステム“Lane Assist”の作動状態が表示されます。

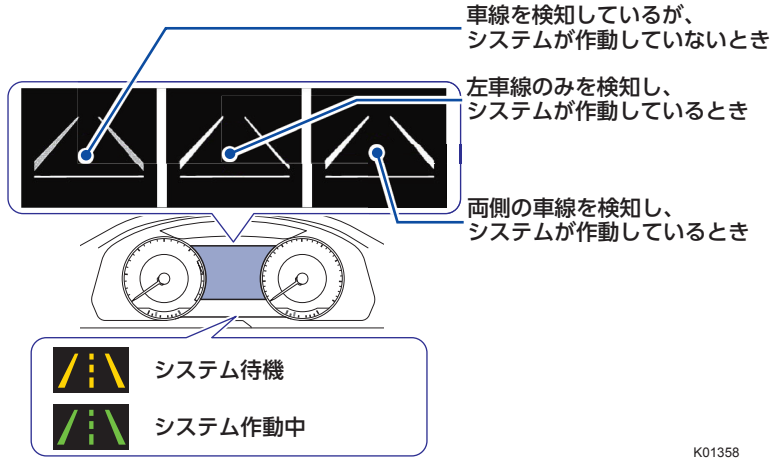
線の色が薄い　　：車線を検知していないとき
線が細く色が濃い：車線を検知しているが、システムが作動していないとき
線が太く色が濃い：車線を検知し、システムが作動しているとき

アナログメーター



K01397

Active Info Display



K01358

アドバイス

ディスプレイメニューの「表示」から「ドライバーアシストシステム」を選択することにより、左側丸型メーター部に作動状態を表示させることもできます。

レーンキープアシスト“Lane Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Lane Assist”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

コンビネーションメーターのディスプレイの表示灯が消灯し、レーンキープアシストシステム“Lane Assist”をOFFにすることができます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”は、レーンキープアシスト“Lane Assist”とアダプティブクルーズコントロール“ACC”が連動した機能です。渋滞の最後尾など、停止している車両の後ろで停止するまで減速し、先行車の動きを検知して再発進します。

この機能は、以下の条件下において機能します。
- レーンキープアシスト“Lane Assist”がオンになっている
- アダプティブクルーズコントロール“ACC”が作動している
- 車両が左右の車線を検知している
- 車速が 60km/h 以下

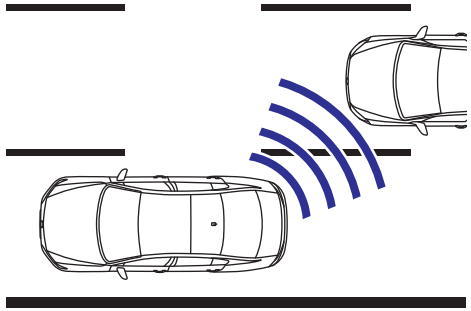
渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“レーンアシスト”で「アダプティブレーンガイド」のチェックボックス☑を外します。

レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus”

レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus”は、リヤバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーで、車両後方をモニターします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内のインジケーターが点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させるとインジケーターが点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。また、車両が検知された車線側に進路変更しようとするとステアリングを自動で補正し、他車との接触を回避します。



QM3038

レーンチェンジアシスト“Side Assist Plus”の機能停止のしかた

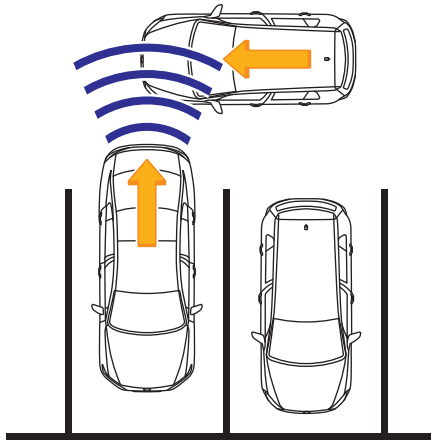
操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Side Assist（レーンチェンジアシスト）”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）は、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーで、後方を横切る車両をモニターし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、後退時 12km/h 以下で作動します。



QM3039

リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「駐車支援」の“リヤトラフィックアラート”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

便利な機能

ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

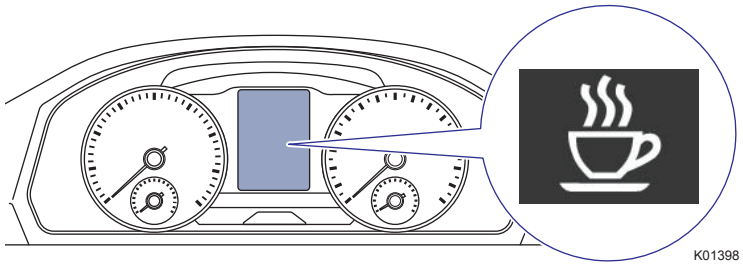
ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。

動画を再生

運転パターンのモニタリングは、約 60km/h ～約 200km/h で走行中に行われます。

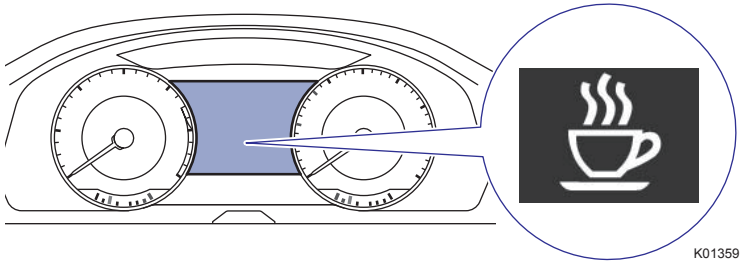
コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、マルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。

アナログメーター



K01398

Active Info Display



K01359

QM4039

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”の機能停止のしかた

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“疲労検知システム”で「作動」のチェックボックス☑を外します。

ドライバー疲労検知システム“Fatigue Detection System”を OFF にすることができます。

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”（歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付）

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。
レーダーセンサーで先行車をモニターし、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。
警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。

動画を再生

シティエマージェンシーブレーキ機能

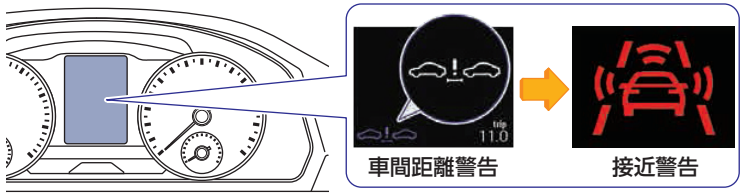
5km/h ～ 30km/h での走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

歩行者検知システム

約 5km/h ～ 65km/h 未満での走行中には歩行者検知システムが作動し、自動的
にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

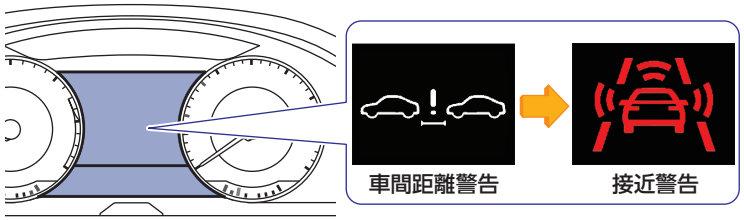
衝突の危険性を検知し、システムが作動すると、コンビネーションメーターのディスプレイには以下の図が表示されます。

アナログメーター



K01399

Active Info Display



K01360

コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、マルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”（シティエマージェンシー機能付）の機能停止のしかた

操作手順

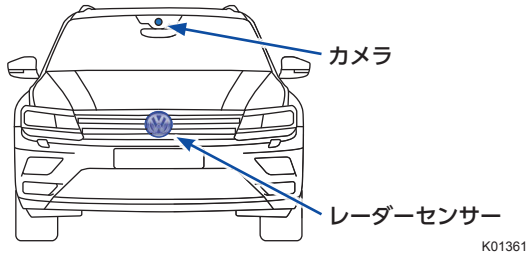
1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“Front Assist（フロントモニタリングシステム）”で「作動」、「警告」、「車間警告の表示」をそれぞれ OFF にできます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

便利な機能

歩行者検知システム

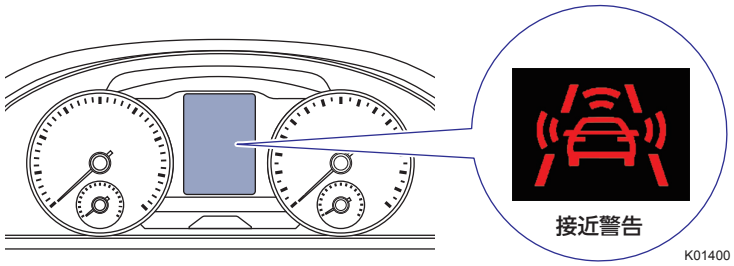
歩行者検知システムは、プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”の拡張機能です。レーダーセンサーとフロントカメラにより歩行者を検知し、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。この機能は、約 5km/h ～ 65km/h 以下で作動します。



K01361

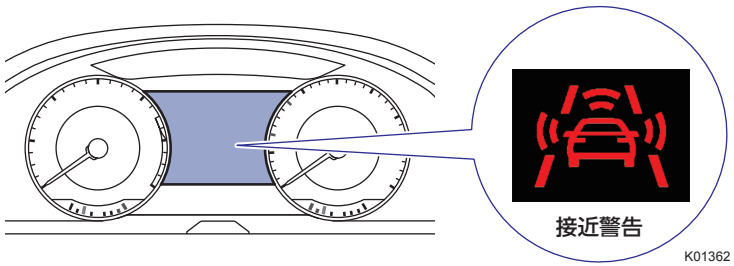
衝突の危険性を検知し、システムが作動すると、コンビネーションメーターのディスプレイには下記の図が表示されます。

アナログメーター



K01400

Active Info Display



K01362

ESC(エレクトロニックスタビリゼーションプログラム)

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。
ESC（エレクトロニックスタビリゼーションプログラム）には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS（アンチロックブレーキングシステム）
  ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS（ブレーキアシストシステム）
  ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR（トラクションコントロールシステム）
  発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- XDS（エレクトロニックディファレンシャルロックシステム）
  直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
  高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

ESC/ASR の機能の切り替え

インフォテイメントシステムによる切り替え

操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ESC システム」で ESC および ASR の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

便利な機能

プロアクティブ・オキュパント・プロテクション

事故の可能性を予測し、早い段階で乗員保護機能の作動に備えるシステムです。

急制動や極端なオーバーステア / アンダーステアによって発生しうる事故の可能性を検出すると、即座にシートベルトのテンションを高めます。
同時にウインドーを閉じ、万が一の衝突が起きた際、各エアバッグが最大限の効力を発揮できるように備えるシステムです。

プロアクティブ・オキュパント・プロテクションは、約 30km/h 以上で走行中に作動します。

プロアクティブ・オキュパント・プロテクションの機能停止のしかた

操作手順

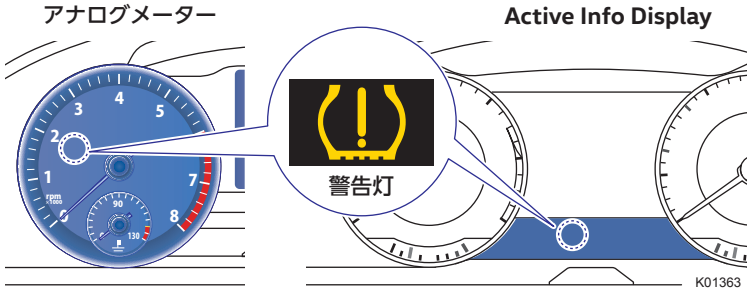
1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「ドライバーアシスト」の“プロアクティブ・オキュパント・プロテクション”で「作動」のチェックボックス ☑ を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

タイヤモニタリングシステム

パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4 輪のタイヤ空気圧を点検してください。



タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

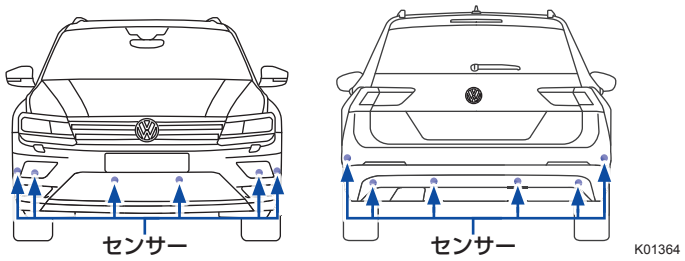
操作手順

1. ディスプレイの「MENU」を選択します。
2. ディスプレイの「車両」を選択します。
3. ディスプレイの「設定」を選択します。
4. 「タイヤ」の“タイヤ空気圧モニタリングシステム”で車両の積載量に応じた規定圧を選択できます。

現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。

パークディスタンスコントロール

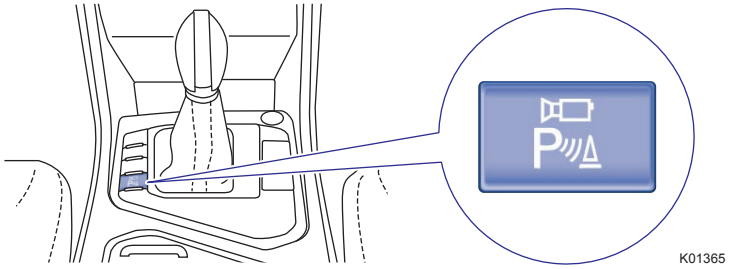
フロントバンパーおよびリヤバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。



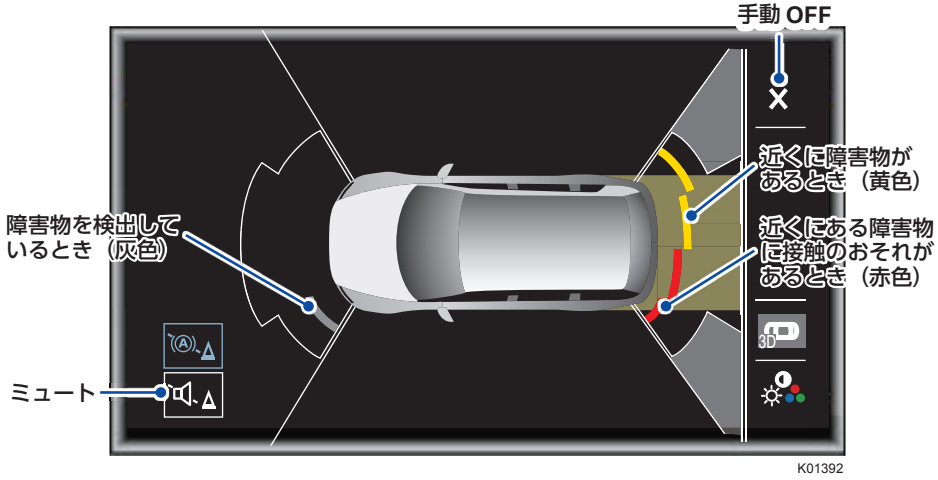
以下のときに作動します。

- セレクターレバーを“R”にしたとき
- 車両が後退したとき
- 15km/h 未満の速度で前方の障害物に接近したとき

また、センターコンソールのボタンを押すと、手動で ON/OFF を切り替えることができます。



障害物に近づくとピッピッピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。
さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



パークディスタンスコントロールの設定のしかた

操作手順

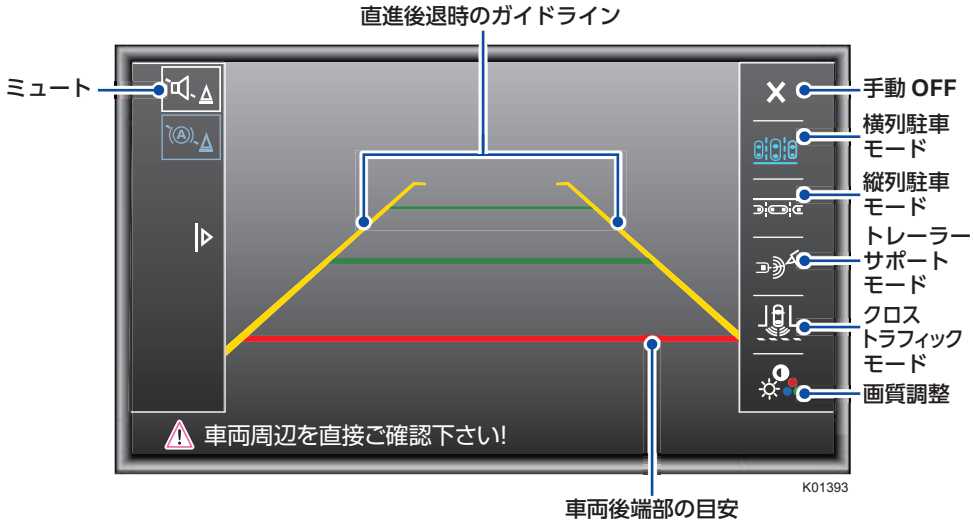
1. ディスプレイの「**MENU**」を選択します。
2. ディスプレイの「**車両**」を選択します
3. ディスプレイの「**設定**」を選択します。
4. 「**駐車支援**」の“**パークパイロット**”で、パークディスタンスコントロールの自動 **ON** の設定や警告音の音量の調整などができます。

便利な機能

リヤビューカメラ“Rear Assist”

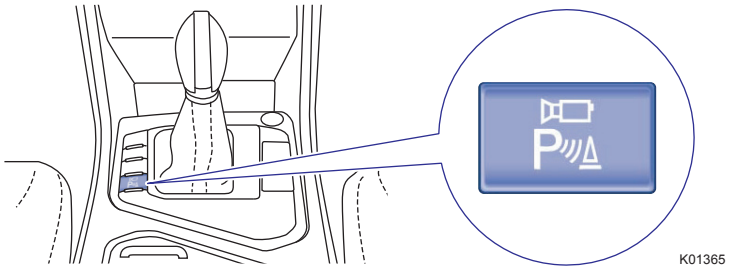
後退時、インフォテイメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。
カメラはテールゲート中央内側に格納されています。

セレクターレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。
セレクターレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。



アラウンドビューカメラ“Area View”

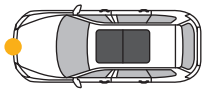
アラウンドビューカメラ“Area View”は、4 つのカメラが撮影した映像を合成し、車両の真上にカメラがあるような映像をインフォテイメントシステムの画面に表示します。
カメラはフロントバンパー、ドアミラー、テールゲートに取り付けられています。
セレクターレバーを“R”の位置にシフトしたときに作動します。
または、センターコンソールのボタンを押すと、手動で ON/OFF を切り替えることができます。



カメラビューの選択

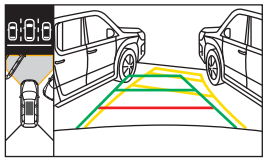
4 種類のカメラビューを、ディスプレイ右側に表示させることができます。
左に表示させるバードビューの画像では、選択したビューがオレンジ色の枠で強調されます。
さらにディスプレイ右側に、選択したカメラのメニュー項目とそのカメラビューが表示されます。

フロントカメラ

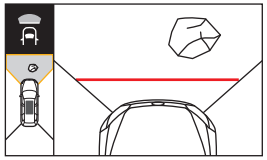


交差点

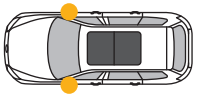
駐車スペース



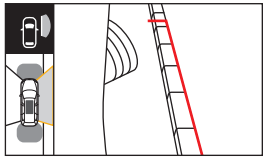
前方



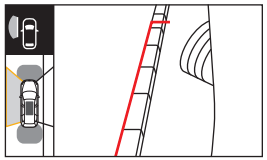
サイドカメラ



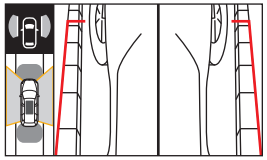
右側



左側

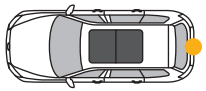


左右

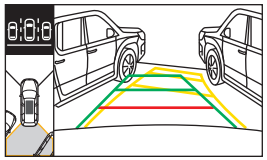


QM4051

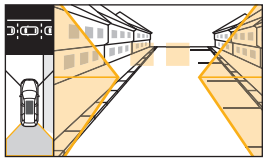
リヤカメラ



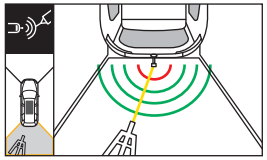
駐車スペース



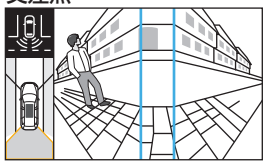
縦列駐車



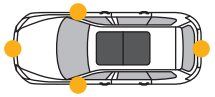
トレーラーアシスト



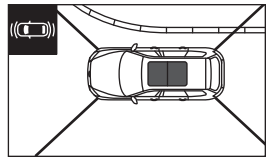
交差点



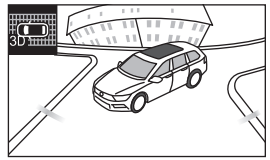
すべてのカメラ



バードビュー



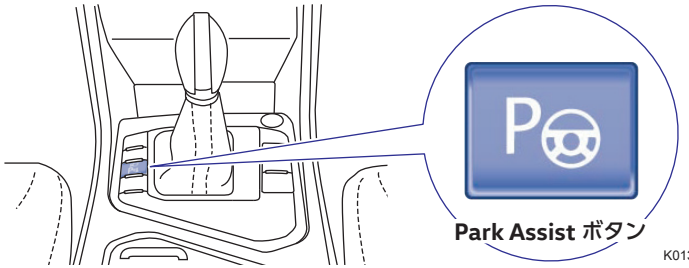
3D 表示



QM4052

駐車支援システム“Park Assist”

駐車支援システム“Park Assist”は、縦列駐車、後退または前進して横列駐車をする際のステアリング操作を自動で行い、スムーズな駐車を補助します。
縦列駐車からの発進も、同様にシステムがステアリング操作を自動で行い、スムーズな発進を補助します。
運転者はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されるガイドに従って、前進、後退、ブレーキの操作をする必要があります。



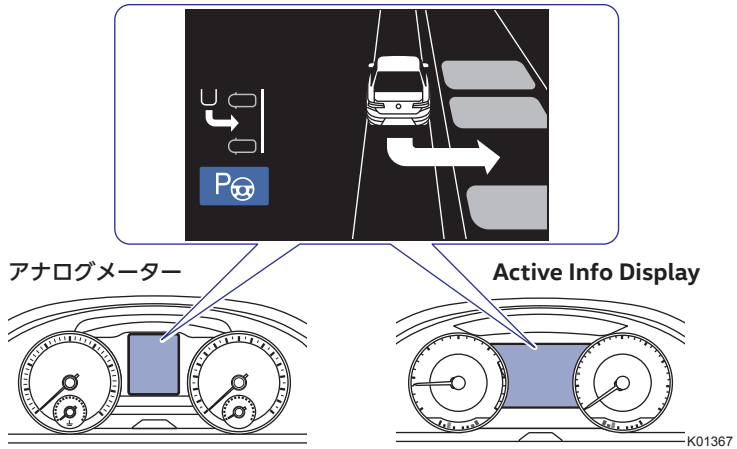
アドバイス

駐車支援システム“Park Assist”は、駐車スペースの駐車している車両を検知して駐車スペースを検知しています。車両が駐車していない駐車スペースでは本機能を使用することはできません。
誤った操作をすると、駐車支援システム“Park Assist”が終了します。終了した場合は操作手順の最初からやり直しする必要があります。

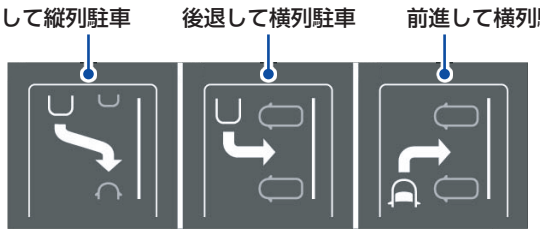
駐車のしかた

操作手順

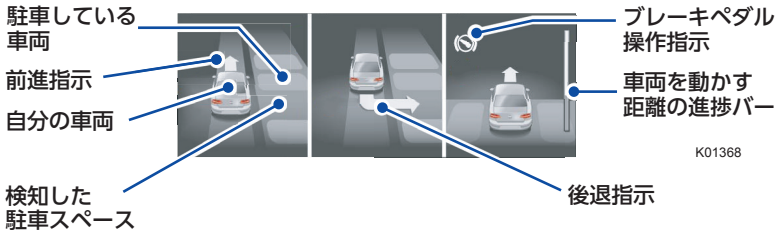
1. 希望する駐車スペースの少し手前で停車します。
2. Park Assist ボタンを押します。
3. 駐車する側に方向指示器を操作します。
4. 駐車スペースが検知されるまで、ゆっくり前進します。
車両が駐車スペースを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイに下記の図が表示されます。



5. Park Assist ボタンを押して、希望する駐車方法を選択します。



6 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクターレバー、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



7 駐車が完了すると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい !」と表示されます。

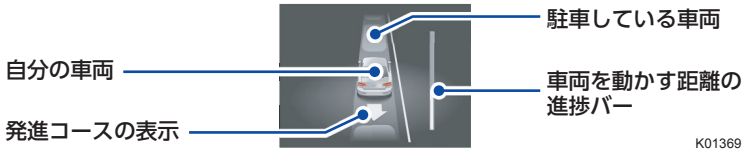
縦列駐車スペースからの発進のしかた

操作手順

1 Park Assist ボタンを押します。

2 発進する道路側に方向指示器を操作します。

3 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクターレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。
このときステアリングは自動で操作されます。



4 縦列駐車スペースから発進できる状態になると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい !」と表示されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に帰属します。
本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan

本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発　　行：2017年7月
印　　刷：2017年7月
発行番号：181.5J2.TIG.70